Hatsuishi

初石少年サッカークラブ
創設30周年記念誌

Hatsuishi Jr.Soccer Club
Since 1979

30th Anniversary

1979
2009

目次

●ご挨拶 ・・・・・・・・・ P 1

●ご祝辞 ・・・・・・・・・ P 3

●30周年記念
クラブ功労賞 ・・・・・・・・・ P 11

●25周年からの歩み ・・・・・・ P 12

●25周年からの歴代
役員 ・・・・・・ P 15

●初石招待歴代優勝
チーム ・・・・・・ P 16

●クラブ員寄書き ・・・・・・ P 17

●コーチ・役員から ・・・・・・ P 24

●想いでの試合 ・・・・・・ P 32

●資料編

卒業生名簿（25期～29期） ・・・・・・ P 39

卒業生名簿（名簿のみ） ・・・・・・ P 44
※（1期～24期、女子、ママさん）
クラブ員・コーチ名簿 ・・・・・・ P 50

●編集後記 ・・・・・・ P 52

初石少年サッカークラブ
第8代会長　渡 部　典 夫

本年初石少年サッカークラブは30周年を迎えることが出来ました。これもクラブ関係者及び市内サッカー連盟の方々のご支援・ご協力があってのことと思います。この場をお借りしお礼申し上げます。
さて、私がクラブへの関わりは息子3人ともお世話になりましたが、三男が1年生に入部した時にコーチに誘われたのがきっかけでした。それから学年の代表コーチ、クラブの副会長を前村上会長より依頼を受けました。また、クラブの20周年記念の時に、宮脇会長と一緒に記念パーティを企画し、関係者の協力により無事終えることが出来ました。翌年に宮脇さんが顧問となり、私が会長へと体制が変わりました。最初は不安で、1年持てばよいかな？とまったく自信が無くスタートした記憶があります。当初、私はクラブ全体の取りまとめを行う執行部の体制強化を図りました。副会長3名体制、代表コーチ、ヘッドコーチ、指導体制もC・D級指導員の増員、3級審判の増員やクラブ内での技術指導講習会の実施などを行いました。また、クラブ運営内容の充実により部員の入部促進の強化を図り、最近では低学年を中心とした部員が多くなってきています。これからもクラブ執行部の若返りを図りながら、部員の増員を更に進めて行きたいと思います。最後に、保護者及びクラブ関係者のご理解とご協力を今後ともお願いし、更なるクラブ発展へ今後も微力ながら協力して行きたいと思います。

初石少年サッカークラブ
第3代監督　鷺　慎一

初石少年サッカークラブが創設されたのは、1979年。以来、今年で30周年を迎えました。多くの関係者の皆さんに「おめでとう」と「ありがとう」を申し上げたいと思います。こんなにも長くクラブが続いてきたのは、大いなる情熱をもって発足に尽力してくださったOBコーチやご父兄・お母さん方のお陰だと感謝しております。詳細は私自身も制作に係わった“20周年記念誌”に書いてありますが、今となっては、あの時に皆さんからクラブ黎明期の歴史の聞き書きを行い、記録として残せたことはとてもよかったと思っております。

初石から多くの子供がサッカーを学び、楽しみ、卒業していきました。支えてくれた多くのコーチ、お母さんお父さん、ありがとうございました。私自身も今年で23年目となり、監督としても15年が過ぎました。こんなにも長く務められたのは、「子供が好き、サッカーが好き」であったからだし、陰で支えてくれ、また一緒にサッカーに携わってきた家族のお陰でもあります。

初石はすでにJリーガーを何人も輩出しており、名門クラブとも称される歴史を持つまでになりました。しかし、伝統にあぐらをかくことなく、われわれ古参も日々、指導方法を研鑽しながら、主役である子供をいかに育てるかを考えて行きましょう。

サッカーの指導のために何が最良か、どんどん新しいものを吸収していきましょう。伝統と活力、ベテランコーチと若手コーチのコラボレーション、これがこれからの初石の新しい伝統を作っていくと信じております。

千葉県サッカー協会
第4種委員会　委員
第2ブロック　副ブロック長
松戸市サッカー協会　副会長
第4種委員会　委員長
東葛地区少年サッカー連盟
顧問
北　川　秀　行

創立30周年を祝して

このたび、初石少年サッカークラブが、創立30周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、創立以来、指導者の方々の努力と熱意により着実な活動され、貴クラブ及び流山市の少年サッカー普及と技術向上とともにその育成を図ってこられました事、松戸市サッカー協会第4種委員会加盟クラブを代表して感謝申し上げます。

一言に30年と申しますが、30年間にJリーグの開幕、日韓ワールドの開催、卒団生のJリーグ選手の活躍など様々な実績が出来たこと、関係者の方々や家族の皆様のお力の賜と感謝致します。

今後とも流山市の少年たちへの未来の夢へのために全力を尽くされること信じております。

最後になりますが、皆様のご健康と貴クラブのますますのご発展をお祈り致します。

誠におめでとうございます。

福田少年サッカークラブ
代　表　　石　川　　清

祝　創立30周年　更なる飛躍を

創立30周年をお迎えになられた初石少年サッカークラブの渡部会長はじめスタッフの皆様、おめでとうございます。

流山市でいち早くクラブを立ち上げ、切磋琢磨し県大会でも早々上位に名を連ね、私共には憧れのチームでした。クラブの記念誌には、交流が始まったのが平成6年の1月16日。その翌年、5月に招待試合にお招きをいただき大変うれしく感じたのを思い出されます。その会場で私は審判資格を取られたスタッフの多いことには驚きました。そのことが福田少年SCのクラブ運営にも影響され今日があります。

さて、30年のクラブ運営にはさまざまなことがあったことと存じます。歴代のクラブ代表とも親しくお付き合いをいただき、交流試合も数多くお世話になりました。いつも感じていることは、赤のユニフォームを着た子供達がスタッフと一緒に目指すサッカーを楽しくプレーしていることが第一印象です。今後も数多く交流を重ねることと存じます。どうぞこれからも宜しくお願い申し上げます。

結びに、初石少年サッカークラブの更なる飛躍と関係各位のご健勝をお祈りし、お祝いのことばとさせていただきます。

誠におめでとうございます。

流山市少年サッカー連盟
ペガサスジュニアFC
会 長 白 井　 榮 一

創設30周年おめでとうございます。

日本が「ワールド・ユース選手権」に準優勝した年に20周年、「2010年ワールドカップ南アフリカ大会」に出場を決めた年にクラブ創立30周年を迎えられた初石少年サッカークラブの関係者の皆様誠におめでとうございます。

流山市で2番目の少年・少女サッカークラブとして誕生した貴クラブは、代々の会長を中心に指導者・保護者・会員の方々のご努力と熱意により、着実な活動を展開されて、少年・少女サッカーの普及と技術向上と共に青少年の健全育成を図ってこられました。

その結果として、市内・東葛地区大会はじめ千葉県大会での各種大会に参加され、立派な足跡を残されました。J1リーグで活躍された、又現在も活躍中の酒井直樹・大谷秀和選手を世に出した事は特筆すべきで、これは貴クラブだけでなく、流山市のサッカー関係者皆の歓びでもあります。

今後共に貴クラブは、流山市の少年・少女サッカーの普及・振興を推し進めると同時に、次代を担う子供達の未来が夢と希望に満ち溢れた輝かしいものになるように、そして社会に貢献できる人材の健全育成の為にも計画的・主体的に活力ある活動を展開し流山市のサッカー界の牽引車として、活躍される事を切に望みます。

輝かしい歴史と伝統を礎に、初石少年サッカークラブの益々発展する事を祈念申上げ、お祝の言葉と致します。

流山隼少年サッカークラブ
会 長　 鈴 木 和 美

創立30周年に寄せて

初石少年サッカークラブが、創立30周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。貴クラブは、多くの輝かしい歴史を積み重ねてこられ、今もJリーグに選手を送りだしている県下有数のサッカークラブです。

創立より現在までクラブを受け継いでこられたのは、子供たちや保護者の皆さんのご理解ご協力はもとより、歴代の指導者の皆さんや、渡部会長を始めとするスタッフの皆さんの一致結束したご尽力の賜物と思います。

これからも世界のスポーツ・サッカーを支える同じ地域の仲間として手を携えてがんばっていきましょう。

最後になりましたが、初石少年サッカークラブのますますのご発展と、皆様のご健勝を心から祈念してお祝いの言葉といたします。

流山翼少年サッカークラブ
会　長　　荻 野　民 雄

流山東部フットボールクラブ
監督　林　雅 己

祝30周年

創立30周年おめでとうございます。
創立当時の子供達はもう40才前後になっていますね。子供の成長は早いものです。そのまた子供達がサッカーをやっているのですから長い年月です。

流山市内のクラブは各地域の子供達を対象にしています。サッカーを指導していますが、サッカーを通して心身の成長も担っています。子供達が健やかに育てと願うのは親だけでなく地域の大人の責任でもあると考えます。

今の子供達は外で走ったり飛んだりする遊びをしなくなりました。家の中に一人でいることが多く運動能力が低くなる傾向です。サッカーや野球をしている子供とスポーツをしていない子供の運動能力の差が開くいっぽうです。また、友達、仲間とのコミュニケーションが取れない子供も増えています。サッカーで運動能力やコミュニケーションがよくなることを願っています。

地域のサッカークラブですが大事に育ててたくさんの子供達を送り出してきたことは素晴らしいことです。頑張ってJリーガーになった子供もいるのですからその成果はたいへんなものです。

これまで、たくさんの指導者がいらしたと思いますがご苦労様でした。これからも貴クラブが地域の子供達のために末永くご活躍されることをご祈念いたします。

創設30周年に寄せて

初石少年サッカークラブ創設30周年誠におめでとうございます。

同じ地域のクラブチームとしまして、心よりお喜び申し上げます。

また、これまで初石少年サッカークラブを支えてこられた指導者並びに保護者等関係者の皆様、大変ご苦労様でした。

創設20周年の記念行事にも参加させていただいたことが、つい昨日のように思い出されますが、早いもので、あれから既に10年の年月が経過をしているわけで、時の経過とはなんとも不思議なものであると感じております。

日本のサッカーの現状について、ここ10年20年の努力により急速に「世界」に近づいては来た。しかし、ここから先は「世界に近づく」という意識から「打ってでる」意識で、立ち向かわなければ「2015年に世界のトップ10」という目標は達成されないであろうと、フットボールカンファレンス報告にありましたが、そのためには何をしていけばよいかということですが、「目指す方向性を日本全体で共有する」サッカーに携わる全ての人々の情熱、1つ1つの努力が、最終的に大きな力となって結集する体制を創りあげることであると報告されています。

このためにも、貴クラブにおかれましては、現在の活動を更に継続していただくとともに、一人でも多くの子どもたちに良い思い出と、夢を持たせてあげることをお願いし、今後も貴クラブが日本サッカーのレベルの向上に貢献されるよう期待をし、お祝いの言葉とさせていただきます。

江戸川台フットボールクラブ
会 長　金 井　芳 夫

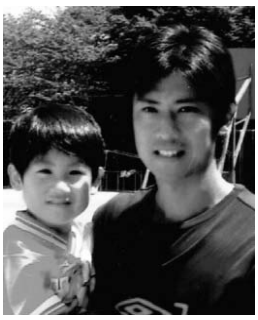
創立30周年を祝して

初石少年サッカークラブ創立30周年おめでとうございます。
この間、20周年、25周年と発展しJリーガーを輩出された貴クラブの青少年育成にかける熱意に心より敬意を表明いたします。
思えば、20数年前に江戸川台FCを立ち上げ、市内大会において初石少年SCと対戦する度に大敗し、相手チームの強さに子供たちと共に驚きました。その後、ある土曜の午後、西初石小学校の横を通った際に熱心に指導するコーチと必死になって猛練習について行く子供たちの姿を垣間見て、強さの秘密を少し覗けたように思いました。多数のコーチ、関係者が在籍し、その力を存分に発揮している姿が羨ましく、私だけでなく他のクラブの方々も大いに刺激を受けてきたと思います。
子供達を育てるのは、親だけではありません、それは周りの仲間と切磋琢磨であり、クラブであり、地域の皆さんの協力だと思います。
30年間成長を続ける貴クラブの組織力と地域に根ざした活動は、私たちの見本であり発展の原動力だと思います。今後も流山少年サッカーの隆盛のため、牽引者の役割を
担って頂きたく、さらなる発展を祈念申し上げます。

南流山少年サッカークラブ
会 長　飯 泉　修 司

祝　創立30周年　更なる飛躍を

初石少年サッカークラブ創立30周年誠におめでとうございます。クラブを代表してお祝い申し上げます。一言で30年、遠い、遠い、歳月の賜とともに、多大なご苦労もあったことと思います。立派に成長したクラブを想い歴代関係者皆々様にとって感無量の想いで迎えたことと思います。私達後輩クラブにとって、卓越した指導、協調、情熱等に、その総合力に敬服すると共に、感銘をうけた次第です。私自身クラブ運営の手本、鏡として感謝の想いで頑張ってきました。今後とも、連盟の発展、青少年健全育成の為、指導的役割を発揮されることを期待致します。私も微力ながら、サッカー少年の安心、安全のグランド作りに努力致しますので、クラブともども宜しくお願い致します。終りになりましたが、貴クラブの益々の発展と関係者皆々様のご健勝をご祈念申し上げます。



柏レイソルU－15コーチ
酒井　直樹

経歴：

小3～6年	初石SC（流山市立八木北小学校）
中1～3年	柏レイソルジュニアユース（流山市立常盤松中学校）
高1～3年	柏レイソルユース（千葉県立小金高校）
1993～2001	柏レイソル
2002～2003	コンサドーレ札幌（レンタル移籍）
2004～2006	柏レイソルU－15コーチ
2006～	柏レイソルU－12監督
2007～	柏レイソルU－15コーチ

創立30周年を祝して

『初石少年サッカークラブ創設30周年』誠におめでとうございます！
小学3年生に8期生として初めて「初石少年サッカークラブ」に出会い、早や25年が経ちました。つくづく「本当にあっと言う間だったなあー」と思う日々が繰り返されます。中学・高校と柏レイソルユースに所属し、トップチームで10年間現役を続け、引退後は柏レイソルユースの育成に携わって6年目。どうにかこうにか自分なりに突っ走ってきました。完全燃焼！！！できたかどうかは未だに自分も？？？ですが、自分なりにポジティブに捉えています。

あのひたすら無邪気にボールだけを追っかけて、純粋に一喜一憂していた小学校時代。記憶を辿るだけで背中を押される気持ちになる自分は「本当に恵まれているな」と感じています。また、共に歩み、共に戦った“仲間達”には語りつくせない程、気持ちの部分で色々と「励まされ、助けられてきたな」としみじみ思う今日この頃です。本当に“初石”には感謝の気持ちで一杯です。そのせいか未だにあの頃の記憶はびっくりするほど鮮明です。

思い返すと色々な話題が挙がる中、絞ることが非常に難しいですが、初石に入団したてで、チームというものに戸惑い、ライバル達に遠慮しがちだった初々しい小学校3年時、初めて衝撃を受けた記憶が挙げられます。東コーチ（創設から第8期生までを指導）による練習終了のホイッスルと同時にスタートするマラソン競争（およそ800m）です。低学年といえども遠慮なく（猛暑でも！）疲れきった身体にむち打つマラソン競争が本当にきつかったことを覚えています。50、60人の大所帯（八木北小、西初石小、江戸川台小、小山小、東深井小など）でしたから、ちょっとしたマラソン大会でした。同級生である現1年担当・伊藤宏徳コーチとは切っても切れないライバル！？でした。

今思えば、皆、ぎりぎりの体力になりながらも気持ちで走りぬいていたあのマラソン競争で培われた競争心があるからこそ、後に“常勝軍団　初石少年サッカークラブ”へと導かれていった所以と言っても過言ではないような気がします。何事に対しても勝ちにこだわる！己に打ち勝つ！という精神はスポーツ選手にとっては不可欠ですし、当然大人も子供も皆共有すべきことですよね！

先日、西初石小学校で行われた試合に足を運ぶ機会がありました。そこで、大会運営や子供たちの指導に常に奔走しているコーチの方々の姿を拝見し、一保護者として改めて感謝の気持ちで一杯になりましたし、同じ志を有する一指導者としてとても誇らしく感じました。しかし、今日流山にもクラブチームが多数増えたことで指導者の方々にとって多々困難な問題があると聞いています。そういった現状でも“初石”をこれまで支えてくださったすべての指導者、選手、保護者の方々の多大な努力があってこそ創設30周年という素晴らしい年を迎えることができました。そして、この先40年、50年とさらに新たな歴史を作り上げるにあたり、今日を新たなスタートとして晴れて迎えることができた喜びと誇りを皆様と共に分かち合うことで新たなエネルギーにしていければと思っております。

この先も色々苦労はあると思いますが、是非“名門・初石少年サッカークラブ！！”を今後も引き続き継承しつつ共にがんばっていきましょう！私ももちろん初石少年サッカークラブの成長に手助けをしていければと思っております。そして、近い将来、大谷選手に次ぐ柏レイソルのトップ選手を輩出することを願っています！

FC東京　U－15コーチ
油原　丈著

経歴:
初石少年サッカークラブ
⇒柏レイソルジュニアユース ⇒柏レイソルユース
⇒柏レイソル
1996⇒サガン鳥栖
1997. 7⇒セレッソ大阪
1997. 8～1998⇒ジャトコ （JFL）
2002⇒佐川急便東北 （東北社会人リーグ1部）
2003⇒横河武蔵野FC （JFL）
2004⇒FC東京　スクールアシスタント
2005⇒FC東京　U－18　⇒FC東京　U－15深川
2007～2008⇒FC東京　U－15むさし

創立30周年を祝して

この度、初石少年サッカークラブが設立30周年の記念すべき年を迎えられた事を、心からお祝い申し上げます。この30年間、数々の実績を残してこられ、クラブの発展のためご尽力されました歴代のコーチ、ご父兄、OB、関係各位そしてグランドを元気に駆け回る選手達の、努力の歴史だと思います。

私は小学2年生の時にクラブに入り本格的にサッカーを始め、毎週日曜の午後1時にグランドに行くのが本当に楽しみで、しかたありませんでした。グランドではコーチや、たくさんの仲間と飽きることなく1日中ボールを蹴ってすごし、嬉しかった事や悔しかった事、合宿で練習がきつかったけど楽しかった事などたくさんの思い出があります。

なかでもとくに私が強く印象に残っていることは、時々練習の最後でコーチチームと試合をした事です。コーチ達を倒すために全力で向かっていく私達に対し、コーチ達は面目を保つ為にも!?子供達が相手とはいえ本気でプレーしてくれる姿は、現在、指導者としてサッカーにかかわる私にとって、いいお手本になっています。

最後に、今後さらに10年20年と初石少年サッカークラブの歴史を積み重ね、益々の発展と皆様のご健勝を祈念しまして、お祝いの言葉といたします。

柏レイソル　大谷　秀和

経歴：
小1～6年　初石少年サッカークラブ（西初石小学校）
中1～3年　柏レイソルジュニアユース
（西初石中学校）
高1～3年　柏レイソルユース
（流通経済大学付属柏高校）
2003～　柏レイソル

創立30周年を祝して

初石少年サッカークラブ30周年おめでとうございます。
今こうして柏レイソルでプロサッカー選手を続けられているのも初石少年サッカークラブでのスタートがあったからです。サッカーの楽しさ、試合に勝つ喜びを教えてもらい、プロになった今でもその気持ちは変わっていません。
初石少年サッカークラブで過ごした6年間は素晴らしい仲間とたくさんの思い出を作れました。特に市内大会を6年連続優勝できたことは、ずっと忘れない思い出です。
これからもサッカーを楽しむという原点を忘れず、初石少年サッカークラブ出身という誇りを持って戦いたいと思います。今後40周年、50周年と歴史を作り一人でも多くの子供達がサッカーの楽しさ、素晴らしさを経験できるよう応援しています。

早稲田大学
ア式蹴球部女子
米　津　　瞳

経歴：コスモサッカークラブ→初石少年SC
→浦和レッズレディース→藤枝順心高校
→早稲田大学ア式蹴球部女子

創立30周年を祝して

初石少年サッカークラブ設立30周年おめでとうございます。
私が初めて初石少年サッカークラブにお世話になったのは13年前になります。私は男子チームと女子チームを行ったり来たりと掛け持ちをしていました。あの頃は、ボールを追い掛けるのが好きで、負けるのが悔しくて泣いて…無我夢中でした。親御さん達にも良くしてもらい、なに不自由なく自分の好きなサッカーを楽しめました。しかし、残念ですがいい思い出ばかりではありません。自分がチームにとってマイナスな態度をとった時は怒られましたし、コーチが大人気ないが為に子供心が傷ついたり…それは冗談ですが、ただ楽しいことばかりではありませんでした。

私は初石少年サッカークラブにお世話になり、学んだことがあります。
それは、必死にボールを追い掛ける大切さと、出来そうもないことを出来ないと思うのではなく真剣にやってみる、そして、やらされるのではなく、自分からどんどんチャレンジすることが大切、ということを学びました。これは私のサッカー人生に今でも大きく残っています。

初石少年サッカークラブを土台に、現在レッズレディースと改名され活動しているチームに所属し、後に静岡へ渡り、藤枝順心高校へ進学。そこで念願の全国制覇を成し遂げました。それはやはり、どんな辛い状況でも踏ん張って、必死さと真剣さ、そしてチャレンジすることを忘れなかったからだと感じています。

それと同じように常に大事にしたいことがあります。それは感謝の気持ちです。何に対しての感謝と聞かれたら…全てへの感謝です。初石少年サッカークラブを創設してくださった方、今まで指導してくださったコーチの方々、応援してくれているたくさんの親御さん、同じチームの仲間、対戦相手、そして家族への感謝です。

サッカーできていることへの感謝を忘れずに、私自身もこれから先、更に向上出来るように努力していきたいと思います。

最後に初石少年サッカークラブで頑張っている子たち、サッカーを楽しいと思う真っ直ぐな気持ちを大切にしてください。

初石少年サッカークラブの更なる発展とご活躍を期待しております。

30周年記念　クラブ功労賞　受賞者一覧

氏　　名	在籍年数	入部年月日
生方　康之	26	1983/4/1
小沢　佳夫	25	1984/2/1
風間　孝則	25	1984/4/1
片野　貞夫	23	1986/2/1
渡辺　忠雄	23	1986/4/1
菊地　士郎	23	1986/4/1
鷺　　慎一	23	1986/4/1
村上　能正	22	1987/4/1
宮脇　　優	22	1987/4/1
小山　　徹	21	1988/4/1
平田　久生	20	1989/3/1
桑原　祐一	20	1989/4/1
小沢　龍太	20	1989/4/1
江口　　彰	18	1990/11/1
林　　文夫	18	1991/6/1
大山　昭信	17	1992/4/1
相馬　雅裕	16	1993/5/1
西本　滋一	15	1994/2/1
澤原　洋史	15	1994/2/1
島　　政弘	15	1994/6/1
渡部　典夫	14	1995/4/1
小谷　正巳	14	1995/4/1
山本　　弘	13	1996/4/1
仁平　　久	12	1997/4/1
本村　　徹	12	1997/6/1
鷺　　仁子	11	1998/4/1

年表（1999年～2003年）

●1999～2003

年度		クラブの主な出来事／戦績		その他の主な出来事
1999（H11）		●２０周年記念行事		
		（記念誌発行、記念パーティ、記念大会、OB戦）		
	５月	全日本女子サッカー　千葉県決勝	女子準優勝	
		千葉県ミニサッカー大会	6年女子優勝	
	６月	●流山市内1・2年ママさん大会	1年優勝	初石･ﾍﾟｶﾞｻｽ合同ﾁｰﾑでの優勝
	７月	●第20回流山市少年サッカー大会		
2000(H12)	４月	第１回ｶﾞｰﾙｽﾞﾐﾆｻｯｶｰ大会	女子準優勝	
	５月	●初石松原杯	6年準優勝	少子化の影響で2学年合同での練習体制を試みる。片品ｻｯｶｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙへの参加
	7月	●第21回流山市少年サッカー大会	6年準優勝	
	８月	片品ｻｯｶｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ（5･6年）	ベスト16	
	10月	●流山市内1・2年ママさん大会	1年準優勝	
	11月	第18回湖北台杯	3年優勝	2000年
	12月	第3回ｶﾞｰﾙｽﾞﾐﾆｻｯｶｰ大会	優勝	シドニーオリンピック出場ベスト8 第１２回アジアカップ（レバノン）で優勝
2001（H13）	6月	第１回ｶﾞｰﾙｽﾞﾐﾆｻｯｶｰ大会	女子準優勝	
	7月	●第22回流山市少年サッカー大会（総合準優勝）	4年優勝	
			2年準優勝	１７期大谷秀和が柏レイソルに入団。初石５人目のJリーガー誕生
			1年準優勝	
			ﾏﾏ準優勝	
	9月	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	4年準優勝	
	12月	第3回ｶﾞｰﾙｽﾞﾐﾆｻｯｶｰ大会	女子準優勝	
		磯部フレンズカップ	女子準優勝	
	3月	ゼンニチカップ	1年準優勝	
2002（H14）	７月	●第２３回流山市少年サッカー大会（総合優勝）	5年準優勝	日韓合同ワールドカップ開催
			3年優勝	日本代表初の決勝リーグ進出
			1年優勝	ベスト１６
			ﾏﾏ優勝	
	11月	第20回湖北台杯	1年優勝	
		●流山市内1・2年ママさん大会	2年優勝	
			1年優勝	
			ﾏﾏ優勝	
2003（H15）	5月	初石松原杯	6年優勝	FIFAワールドユース選手権（UAE）
	6月	第2回新松戸清水杯	2年優勝	ベスト8
		ユーカリカップ	5年優勝	
	7月	●第２４回流山市少年サッカー大会（総合優勝）	6年準優勝	
			5年優勝	
			4年優勝	
			3年優勝	
			2年優勝	
			1年3位	
			ﾏﾏ準優勝	
	8月	片品ｻｯｶｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ	ﾍﾞｽﾄ16	
	9月	第2ブロック大会	4年準優勝	
	11月	野田市交流ｻｯｶｰ大会	6年優勝	
		牛久向台杯	6年準優勝	
		郡市代表選手権	4年ﾍﾞｽﾄ12	
		●流山市内1・2年ママさん大会	2年優勝	
			1年準優勝	
	12月	東葛リーグ	4年準優勝	
	2月	高野山招待	6年準優勝	
		千葉県少年サッカー選手権3年生大会	3年ﾍﾞｽﾄ16	１２月、鷺監督、倉林コーチによる指導者講習会開催。21人のコーチが参加してコーチングのレベルアップを図る。
		波崎卒業生大会	6年準優勝	
	3月	三菱養和ｻｯｶｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ	5年3位	
		流山市卒業生大会	6年準優勝	
		FC北野ﾐﾆｶｯﾌﾟ	2年準優勝	

年表（2004年～2006年）

●2004～2006

年度		クラブの主な出来事／戦績		その他の主な出来事
2004（H16）		●25周年記念行事		
	5月	初石松原杯	6年準優勝	
		25周年記念5年生大会	5年準優勝	
		25周年記念4年生大会	4年優勝	
		千葉県少年サッカー選手権4年生大会	4年ﾍﾞｽﾄ16	
		ユーカリカップ	5年優勝	
	6月	第3回新松戸清水杯	2年優勝	
	7月	●第２５回流山市少年サッカー大会（総合優勝）	6年3位	
			5年準優勝	
			4年3位	
			3年準優勝	
			2年準優勝	
			1年準優勝	
			ﾏﾏ準優勝	
		FORZA　CUP	1年準優勝	
			2年優勝	
	８月	●２５周年記念行事		『なでしこジャパン』オリンピックで初勝利
		（記念パーティ、記念大会、OB戦）		ベスト8
	9月	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	6年　第3位	
			4年　準優勝	
	10月	ユーカリカップ	6年　第3位	大谷秀和選手（OB：柏レイソル）
		第2ブロック大会	5年　準優勝	リーグ戦初得点　10.17（J1）vs
			3年　ベスト8	名古屋
	11月	東葛リーグ	5年　第3位	
			4年　ベスト8	
			3年　ベスト8	
	12月	●２５周年記念誌発行		
	12月	FCボレイロ成田招待	3年　優勝	
		シックス八潮杯	2年　優勝	
	1月	ゼンニチカップ	2年　準優勝	
	2月	高野山招待	6年　準優勝	
		FORZA沼南招待	6年　第3位	
2005(H17)	5月	第16回初石松原杯	6年　準優勝	■8月に「つくばエクスプレス」開通。
	7月	●第２６回流山市少年サッカー大会（総合準優勝）	6年　優勝	“流山おおたかの森駅”開業
			5年　準優勝	
			4年　第3位	この年の6年生は、4年次東葛準
			3年　優勝	優勝、5年次第2ブロック準優勝、
	8月	片品サッカーフェスティバル	6年　準優勝	6年次は片品で準優勝と大きな大
	9月	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	4年　第3位	会で力を発揮した学年である。
	11月	東葛リーグ	3年　ベスト8	
			1年　優勝	■柏レイソル　J2降格
	12月	シックス八潮杯	2年　ベスト8	
				大谷秀和選手（OB：柏レイソル）
2006(H18)	5月	第1回初石招待6年生大会	6年　準優勝	レイソル選手会長に
		千葉県少年サッカー選手権4年生大会	4年　ベスト8	
	6月	千葉県少年サッカー選手権5年生大会	5年　ベスト16	この年より「松原杯」という呼称か
		ユーカリカップ	4年　準優勝	ら「初石招待」に変更となる。また
	7月	●第２７回流山市少年サッカー大会（総合準優勝）	4年 優勝	6年と4年生大会2つを開催するこ
			2年 優勝	ととなる。
			1年 第3位	
	8月	片品サッカーフェスティバル	6年 ベスト16	■ドイツWorldCup　日本は予選で敗退。
	9月	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	6年 準優勝	中田英寿が引退する。
			4年 準優勝	■日本代表監督にオシム氏
	10月	ユーカリカップ	5年 優勝	
	2月	早稲田つつみカップ	4年 4位	■柏レイソル　J1復帰決定
	3月	卒業生大会	6年 準優勝	
		矢切招待	5年 3位	30名を超える6年が卒業。クラブ
		リバティー杯	2年 3位	員減少が当面の課題。

年表（2007年～）

●2007-2008

年度		クラブの主な出来事／戦績		その他の主な出来事
2007（H19）	5月	第2回初石招待6年生大会	6年 準優勝	
		第2回初石招待4年生大会	4年 第3位	
	7月	●第２８回流山市少年サッカー大会（総合準優勝）	6年 準優勝	
			5年 第3位	
			3年　第3位	
			2年 第4位	
			1年 準優勝	■石川遼　15歳でプロゴルフツアー優勝。
	9月	第2ブロック大会	5年 ベスト8	
	10月	ユーカリカップ	5年 優勝	
	11月	東葛リーグ	5年 ベスト16	
		湖北台杯	1年 第3位	
	12月	六実招待	1年 優勝	■日本代表オシム監督倒れる岡田監督へ
	2月	高野山招待	6年 第3位	
		早稲田つつみカップ	4年 準優勝	
		豆っこリーグ/レイソル豆っこファイナル	3年 第3位両方	
		ゼンニチカップ	1年 第3位	
2008(H20)	5月	第3回初石招待6年生大会	6年 準優勝	
		第3回初石招待4年生大会	4年 準優勝	
	6月	ユーカリカップ	4年 第3位	
			5年 準優勝	
			6年 第3位	
	7月	●第２９回流山市少年サッカー大会（総合準優勝）	6年 優勝	■北京オリンピック開催
			4年 準優勝	
			2年 優勝	
	10月	六実招待	2年 準優勝	■リーマンショック！世界同時不況へ
	2月	リバティ大会	2年 優勝	
		波崎少年サッカー卒業生大会	6年 第3位	
		高野山招待	6年 第3位	
		卒業生大会	6年 準優勝	■新型インフルエンザが広まる

25周年記念誌からの歴代役員

年度	会長	副会長			監督	理事長	（副理事長）	顧問
2000(H12)	渡部典夫	島政弘	林文夫	本村徹	鷺慎一	岡田昌子		宮脇優
2001(H13)	渡部典夫	島政弘	林文夫	本村徹	鷺慎一	井口正博		宮脇優
2002(H14)	渡部典夫	島政弘	林文夫	本村徹	鷺慎一	井口正博		宮脇優
2003(H15)	渡部典夫	島政弘	林文夫	上久保直樹	鷺慎一	井口正博	大西知次	宮脇優
2004(H16)	渡部典夫	島政弘	林文夫	上久保直樹	鷺慎一	大西知次		宮脇優
2005(H17)	渡部典夫	島政弘	林文夫	上久保直樹	鷺慎一	大西知次		宮脇優
2006(H18)	渡部典夫	島政弘	向江太	上久保直樹	鷺慎一	大西知次		宮脇優
2007(H19)	渡部典夫	島政弘	向江太	上久保直樹	鷺慎一	大西知次		宮脇優
2008(H20)	渡部典夫	島政弘	向江太	上久保直樹	鷺慎一			宮脇優
2009(H21)	渡部典夫	島政弘	向江太	上久保直樹	鷺慎一			宮脇優

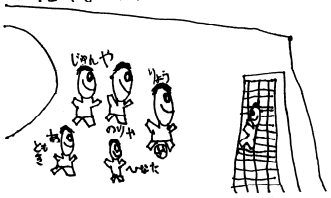
初石招待（旧初石松原杯）歴代優勝チーム

初石松原杯（現在は初石招待サッカー大会６年生）優勝チーム名(H4年は中止です）

第1回	常盤平少年SC（10周年記念）	H元年
第2回	戸塚JFC	H2年
第3回	上本郷SC	H3年
	中止	H4年
第4回	瑞沼スポーツ少年団	H5年
第5回	翼少年サッカークラブ（15周年記念）	H6年
第6回	小和田FC	H7年
第7回	矢切SC	H8年
第8回	旭少年SC	H9年
第9回	松戸旭SC	H10年
第10回	新松戸少年サッカークラブ（20周年記念）	H11年
第11回	ペガサスジュニアFC	H12年
第12回	柏ラッセルFC	H13年
第13回	FC北野	H14年
第14回	初石少年サッカークラブ	H15年
第15回	矢切SC（25周年記念）	H16年
第16回	エンデバーFC	H17年
第17回	大会名を変更	
	『初石招待サッカー大会』6年生以下の部	
	矢切SC	H18年
第18回	ペガサスジュニアFC	H19年
第19回	ペガサスジュニアFC	H20年
第20回	六実サッカークラブ（30周年記念）	H21年

クラブ員寄書き　　1年

100てんとりたいです。
まえやまりゅう



ゆうしょう

したいき
さがいあい

サッカーせんしゅに
なりたい
ますだたいよう

サッカーせんしゅに
なりたいです。
ながむらたいき

シュートが
できるように
なりたい。
たかだあきと

どりぶるしゅーとを
きめる
いとうたいせい

創

とくてんをきめたいです。
まえやまひなた

1てん

しあいにかてるよう
にねんしゅうがん
ばります。
1ねんしのみやじゅんや

サッカー。
たのしい。
かさはらさいき。

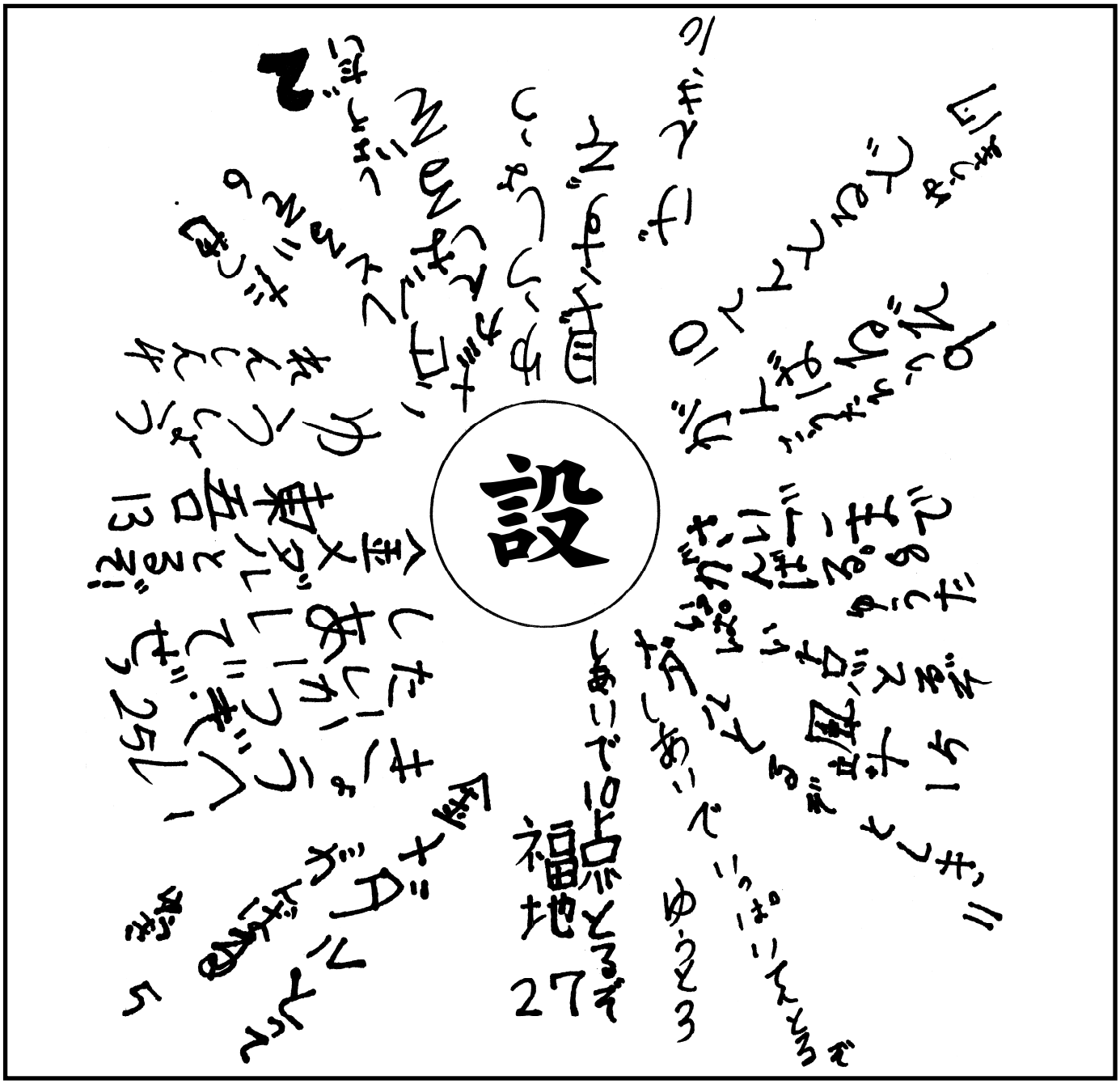
しないたいかいで
ゆうしょうしたいです
しまだともあき

ゴールを
いっぱい
きめたい
ゆりや

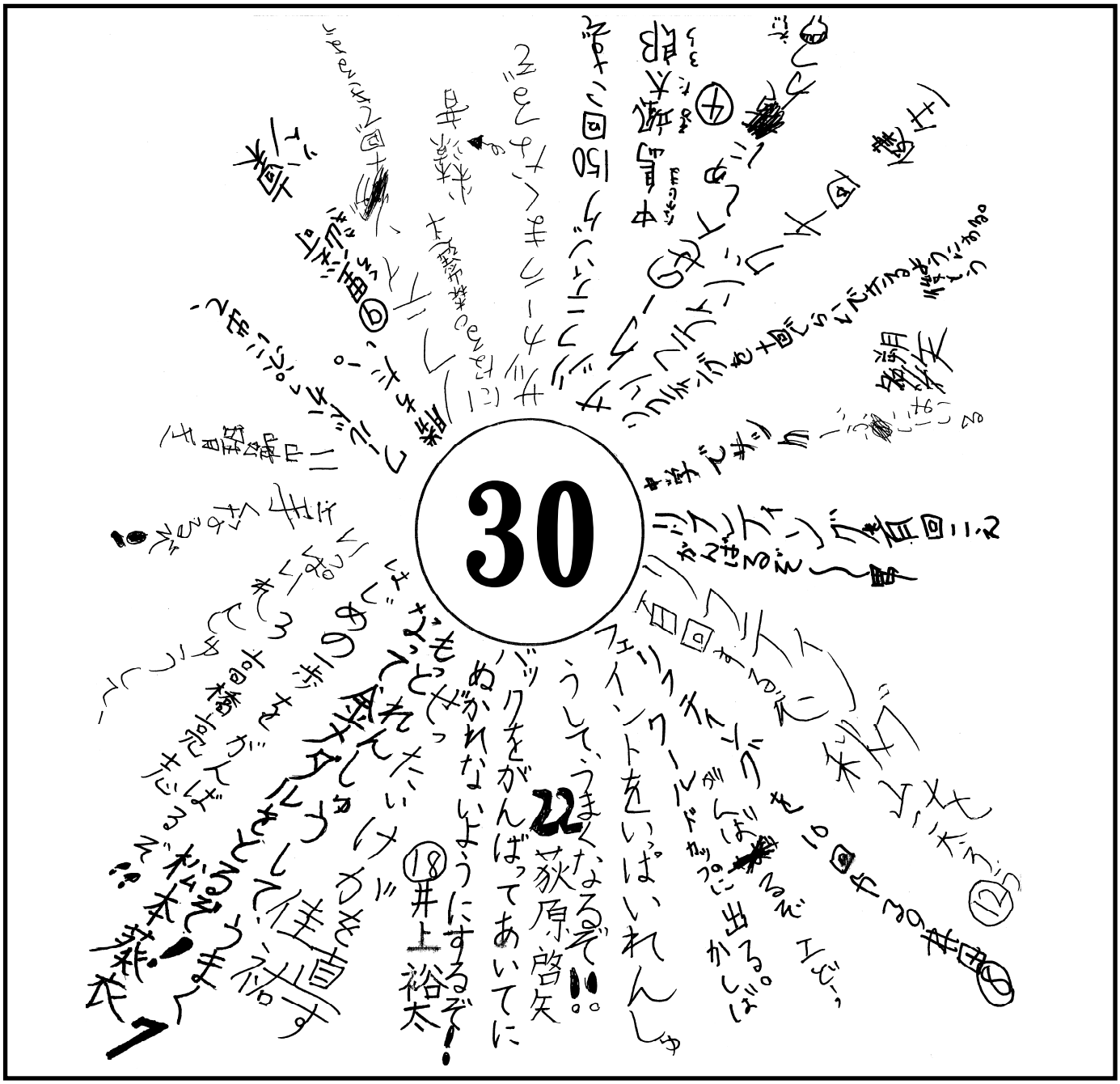
サッカーをいっぱい
れんしゅうして
ゆうずになりたい。
みやわきしけんた

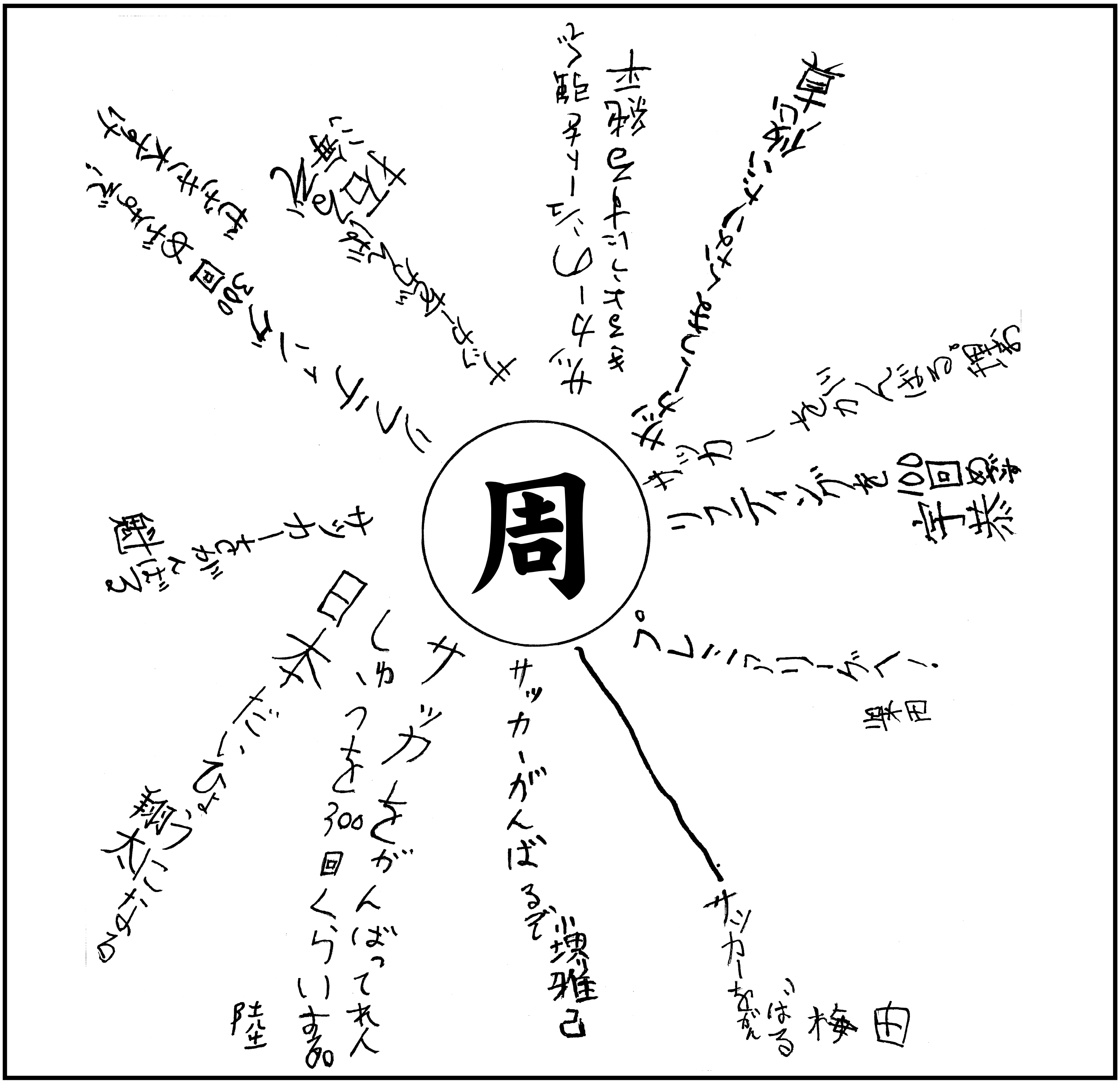
い。ぱいれん
しゅうしてしあい
にかちたい。し
あいでかならず
1てんとる。あらた

クラブ員寄書き　　2年



クラブ員寄書き　　3年



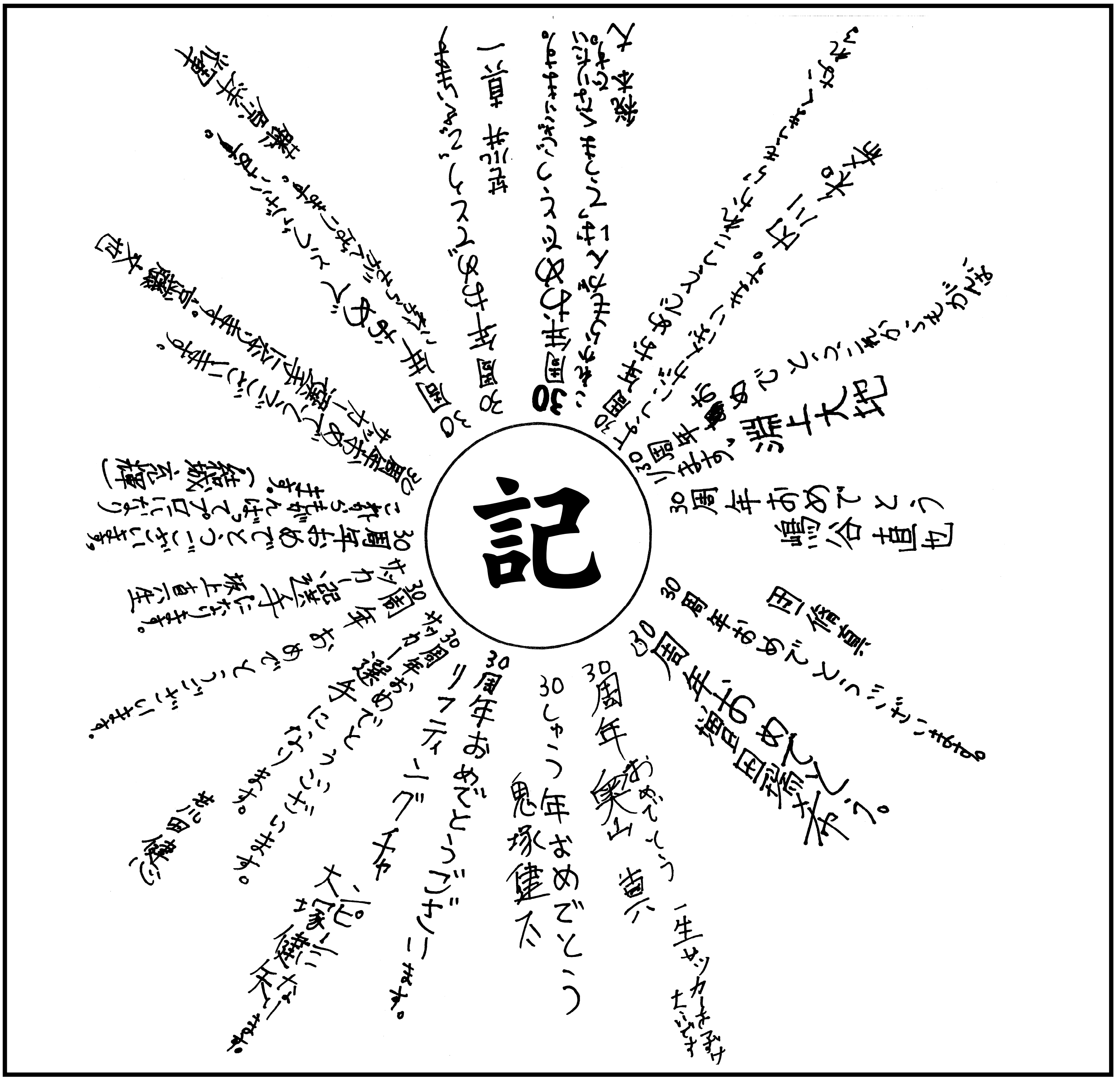

周
サッカーがんばるぞ
梅田

クラブ員寄書き　　５年

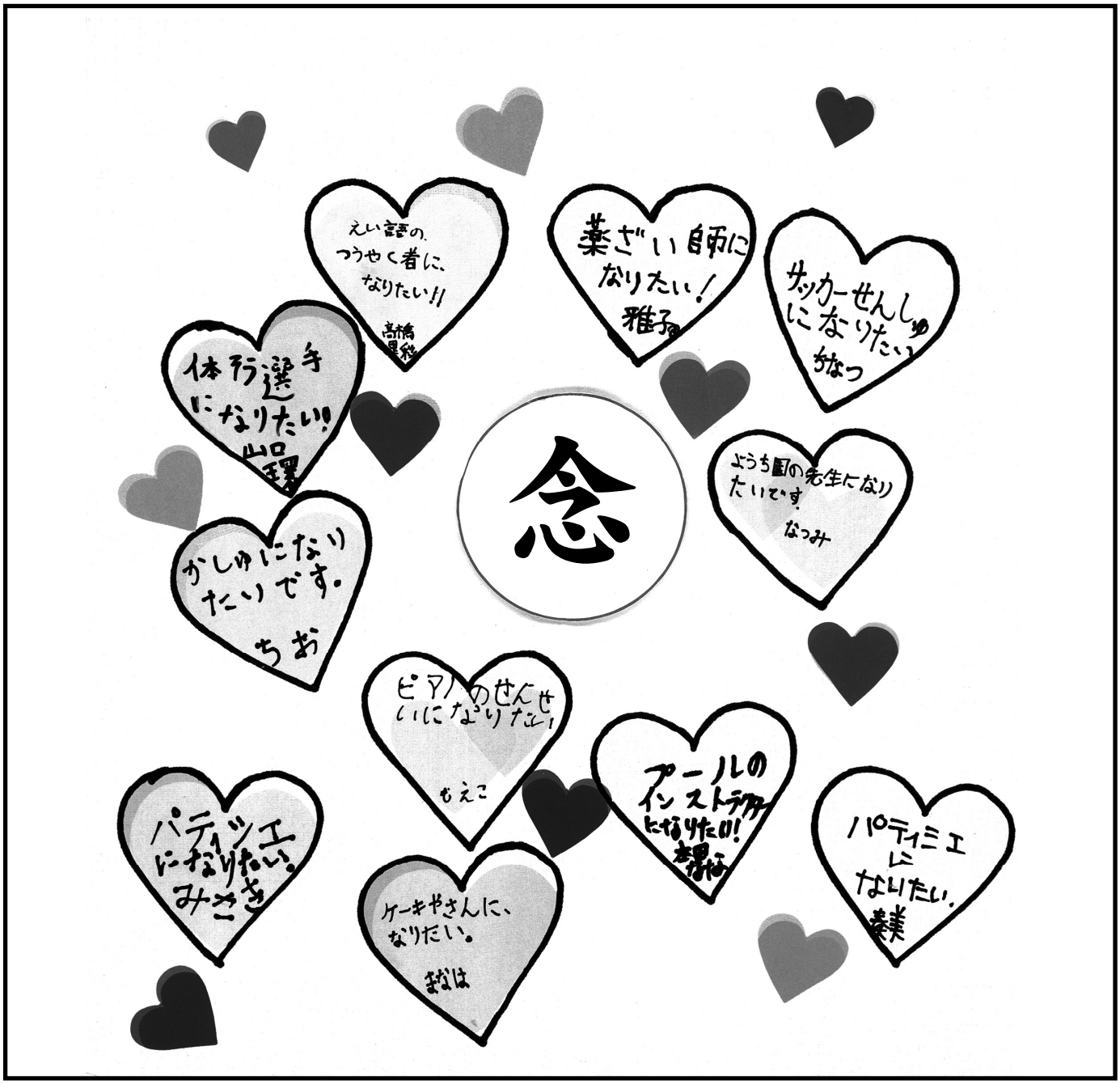
得点王をめざす
田中九進大
ハットトリックをめざす。
戸田 颯
ディフェンス王をめざす。
細川翔平
相手からボールを取って仲間のチャンスにつなげたい。
長塚 尚輝
キャプテンとしてみんなをひっぱってけるようにがんばりたい
岡井悠人
バッグで一生じ命がんばる。
田村拓
これからもGKとして、相手に点を入れさせない
宮澤 啟吾
ヘディングで点を入れるぞ。
中村一勇斗
県たい会でせったい
一点をとる
守岡駿
今年こそ一点をとる
鈴木浩二
鈴木涼太
からこれとしてオワーもとりたい点をだ
年
フェイントをもっとうまくなりたい
上久保勇佑
ディフェンスをがんばる。
渡辺匠
もっとうまくなって、バッグをがんばる
中村海斗
ボールのコントロールをもっとがんばる。
リフティングをもっとがんばる
5年生でレギュラーになるようにがんばる
鮫嶋海征
サッカーがもっとうまくなるようにがんばる。
豊島有希不破
平山敬吾
伊達作
もっとキーパーでつよくなりたい。
大作
みんなにまけないようにはしくおいつけるようにしたい。
原 高家

クラブ員寄書き

6年



クラブ員寄書き　女子


念
えい語の、つうやく者に、なりたい!!
高橋
薬ざい師になりたい！
雅子
サッカーせんしゅになりたい
ちなつ
体育選手になりたい!!
山口
ようち園の先生になりたいです。
なつみ
かしゅになりたいです。
ちお
ピアノのせんせいになりたい
もえこ
プールのインストラクターになりたい!!
パティシエになりたい。
みさき
ケーキやさんに、なりたい。
まなは
パティシエになりたい。
美

「30周年を迎えて」
1年生、幼稚園　担当　伊藤　宏徳

初石SC30周年おめでとうございます！並びに、一OBとして、これまでクラブを支えていただいた皆様、本当に有難うございます。
私も当クラブにおきまして気づいてみると、小学生時に5年間、大学生時に4年間、現在1年間の計10年間関わらせていただきました。その中でかけがえのない恩師や生涯の友達、多くのかわいい後輩達にめぐり合うことが出来ました。本当に感謝しております。
これからも益々初石SCが楽しく、魅力のある地域のネットワークとして発展できますよう、全力でお手伝いさせていただきたいと考えております。今後とも皆様よろしくお願い致します。

【1年コーチ】

伊藤　宏徳
大西　知次
前山　誠
島田　英典

「30周年を迎えて」
1年役員　　前山　有子、島田　享子

つい半年前、園児でまだサッカーを始めて間もない頃、1年生の市内大会に一緒に出場させてもらいました。
右も左も分からずに突っ立っていて、1年生にぶつかって転んだりしていましたが、その大会でメダルをもらったことが余程うれしかったらしく、それからはさらに日曜日のサッカーを楽しみにし、練習に励んできました。
今では練習試合に臨む際、1年生同士でポジションを決めたりするなど、自主性も出始め、これまでに経験させてもらったことが活かされてきているように思います。
現在は仲間も7名に増え、自分達が主役となるはじめての公式戦（市内大会）での上位進出を目指して、みんな一丸となり、練習を頑張っています。

30周年を迎えて　　初石コーチ陣

「30周年を迎えて」
2年生代表コーチ　宮内　匡彦

３０年という歴史の重みと共に、今まで色々な方々が「見守っていてくれたんだ」という、ありがたい気持でいっぱいになりました。そして、子供達も先輩方の築き上げてきた功績を誇りに思っている事と思います。

「30周年を迎えて」
2年役員　富永　美香、福地　美佐子

平成20年の4月、1年生1名からのスタートでしたが、
徐々にメンバーも増えて、今では2年生24名、コーチ8名という恵まれた環境で練習に励んでいます。
当初はいわゆる『ダンゴサッカー』とよばれるもので、チームのメンバーを意識してのプレーなんてものはほとんど見られませんでした。しかし、最近では各自のプレーも上達し、少しずつチームプレーも見られるようになり、サッカーと呼べるようになってきました。サッカーが大好きで、負けん気が強い子も多いので、さらなる成長を期待したいところです。そして、このチームを通じて、子供たちに勝つ喜びや仲間を大切にする気持ちを学んでいってほしいと願っています。
これからも子供たち、コーチスタッフ、父兄みんなで力を併せて初石サッカーを盛り上げていきたいと思います。

【2年コーチ】

宮内　匡彦
大山　昭信
小谷　正巳
中村　太郎
瀬崎　堅一
髙島　邦人
横川　弘人
荒木　則幸

30周年を迎えて　　初石コーチ陣

【3年コーチ】

加芝　素樹
風間　孝則
松本　一夫
渡部　典夫
桑原　祐一
林　　文夫
秋山　喜城

「30周年を迎えて」
　　3年生代表コーチ　加芝　素樹

創立30周年おめでとうございます。
私は子供と一緒に初石に参加をさせて頂いて、まだ2年にすぎません。30年の歴史からするとほんの僅かの期間です。しかし、この2年の間に子供達の頑張りや少しずつ,でも着実に成長していく姿、ご父兄の熱心なサポート・応援、そして初石コーチ陣の子供達やサッカーに対する熱い思い等、沢山の事に触れることが出来たのは、とても有難く、貴重な経験でした。
　今年から3年生のコーチ陣に、初石を卒業されたご父兄にご参加頂きました。親子でサッカーを楽しめる、しかもそれが自分の卒業したクラブ、これこそが初石少年SCの初石少年SCたる所以ではないかと改めて思いました。鷺監督がおっしゃった『子供達が親となる年頃になって、「サッカーは楽しいぞ。一緒にやろう」と自分の子供を誘って、また初石に帰って来てくれる』そんな風に今の3年生が感じてくれるように、これからも一緒に過して行きたいと思っています。創立50周年位にはそんな姿が見られればうれしい限りです。

　最後に、私も4年生からサッカーを始め、サッカーを通して多くの事を学んできました。クラブは違いますが、改めてこれまで指導を頂いた方々への感謝の気持ちをこの場を借りてお伝えするとともに、初石でコーチとして頑張ることで、少しでも恩返しが出来たらと思います。

「30周年を迎えて」
　　3年役員　井上　千夏、中島　春美、荻原　若葉

　2年生までは2チーム編成（A:ロホ　B:アスール）で試合出場して参りました。ロホの印象深い試合は、初の8人制のリバティ杯での優勝です。
　今までに比べて、広いピッチ、長い試合時間にもかかわらず、最後まで頑張り抜いた子供達。決勝は白熱した試合展開となり、見ているだけで熱くなってしまいました。一人一人が全力を出しきり優勝する事が出来ました。
　アスールは、公式戦初勝利となった昨年秋の湖北台杯が印象深いです。1，2年生大会では大敗が多かったのですが、湖北台杯は接戦が多く、勝ちを逃した大変悔しい試合もあり、4試合目に凄い接戦の末、終了50秒前にシュートが決まったのです。そして終了と共に悲鳴のような歓声が上がり、会長とコーチは握手をし、子供達の潤んだ目に晴々した笑顔！
それ以来、やれば出来る！という自信を持ち、負けると悔しがる様に変わったのです。
これからもチーム一丸となり、良い試合をし、友情を深め、楽しい思い出を作っていく事を願っています。

30周年を迎えて　　初石コーチ陣

【4年コーチ】

遠藤　豪
村上　能正
宮脇　優
川崎　哲
片野　貞夫
柴田　等
向江　太
小堺　仁志

「30周年を迎えて」
4年代表コーチ　遠藤　豪

創立30周年おめでとうございます。
この様な、節目の年に代表コーチになれた事をうれしく思います。
30年前ですとまだ、サッカーより野球の方が人気があった時代かと思いますが、子供たちにサッカーの楽しさを教えてこられたことは、素晴らしい事だと思います。
今後も一コーチとして、子供たちにサッカーの楽しさを教えてあげられれば幸いです。
最後に、初石少年サッカークラブに携わる皆々様のご健勝と、クラブの益々のご発展とご祈念いたします。

「30周年を迎えて」
4年ヘッドコーチ　村上 能正

初石少年ｻｯｶｰｸﾗﾌﾞ創設30周年を迎えられ、ｸﾗﾌﾞの運営に当たられたOBのｺｰﾁ･父兄の方々、それと卒業生達に感謝いたします。
私は1987年に入部して3回卒業生を送り出し、現在第4ｸｰﾙ目で4年生を担当しています、毎週日曜は子供達に遊んで貰い楽しい日曜日となっています。
長くコーチをしていると子供達からいろんな勲章を貰っています、自慢話ですが四つ程凄いものがありますよ、現4年生からも凄い勲章を貰うつもりでいます、サッカーをもっともっと好きになって、巧くなって後で自慢話ができるよう練習&練習の繰りかえしだよ。

「30周年を迎えて」
4年役員　阿部　かおり、川崎　佳美

30周年、おめでとうございます。受け継がれてきた初石SCの輝かしい歴史を、更に次の世代に…と、会長はじめ役員、コーチの皆様の多大なご尽力、大変感謝しております。
子供たちは練習を通じ、各々の技術の向上はもちろん、仲間との信頼関係や礼儀を身につけ、一回り大きく成長してきました。四年生になり、楽しくサッカーと親しもうという段階から、勝ち負けを意識し、勝つために戦略を組み立てるという段階へ進み、勝利の喜び、敗戦の悔しさを実感しております。その瞬間の一つ一つを忘れず、これからの人間形成に役立てていって欲しいと思っております。
コーチの皆様、今後とも熱くご指導くださいますようお願い致します。また、初石SCの今後の益々の活躍・発展を祈念いたします。

30周年を迎えて　　初石コーチ陣

【5年コーチ】

鈴木　隆
本村　徹
上久保　直樹
長塚　忠
岡井　勝己
細川　真伸
鷺　　慎一
徳竹　範治

「30周年を迎えて」
5年生代表コーチ　鈴木　隆

初石少年サッカークラブ創設30周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。
このように長く続けてこられたのも、歴代のクラブ役員の方の努力、ご父兄のご協力があったからだと思います。
まだ4年程度ですが、コーチとして子供と共にクラブに参加させて頂き、自分の感じている初石の良さは、
・サッカー経験に関係なく全員に試合に出る機会を与える点
・勝負にこだわりすぎず個人スキル向上を主眼とている点
・歴史と伝統を大切にしながらも時代に合わせて変化し続ける点だと思います。
これから先の40周年、50周年、100周年と地域の子供たちにサッカーを楽しむ場を提供し続けてください。

「30周年を迎えて」
副会長　　上久保　直樹

初石関係者の皆様、ご支援を戴いている方々、毎々ありがとうございます。そして30周年おめでとうございます。30年。例えるならば、大人・子供・保護者・OBが毎年人数を増やしながら。みんなで協力して30年間の襷リレーを達成し、これからも襷を繋いで行くのですね。襷リレーどころか、学年単位では、コーチ・保護者・選手たち全員の6年間ムカデ競走！お互いの思い遣りがないと続きませんよね。すごいなー。
他のクラブを見ればもっと長いクラブもあるでしょう。しかし、私はこのクラブで皆さんと今、いっしょにサッカーに関わる事ができて幸せです。
おかげ様で、3人の息子たちがお世話になり、家族が初石で楽しく暮らしております。
一緒に時を過ごせる皆さまに感謝です。これからも、更なる良い時間が紡がれ続ける事でしょう！

「30周年を迎えて」
5年役員　　豊島　千恵子、渡邉　由美子

クラブ設立30周年おめでとうございます。
一言で30年と言うのは簡単ですが、30年という月日の中でたくさんの子供達が この初石サッカークラブで学び成長していったことでしょう。
そして今、我が子達がこのクラブの一員として参加している事をとても嬉しく思います。これも偏にコーチの方々の指導と役員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。
子供達にとって この大切な成長期に明るい太陽の下で、仲間と共に走りボールを蹴り汗して得る物は、子供だけではなく 私達親にとっても とても大きな宝物になることだと確信しています。
今後も、初石サッカークラブの発展と活躍を期待し協力してまいります。

30周年を迎えて　　初石コーチ陣

「30周年を迎えて」

6年代表コーチ　荒井　崇

初石少年サッカークラブ創設30周年おめでとうございます。
私は長男が二年生の頃からコーチとして携わらせていただいています。
親としてだけでなくコーチとして子供に接する大変さもありますが、子供達と楽しい時間を過ごせる醍醐味も味あわせていただき、30年の長い歴史に関われたこと大変嬉しく思っています。子供たちがサッカーと楽しくふれあえる初石少年サッカークラブの更なる発展も願っています。

「30周年を迎えて」

副会長　島　政弘

30周年を迎える事ができました事は、先輩の方々及び現コーチの皆様、父兄の方々の力と思っています。
私も16年目を迎えますが、これからも皆様の力を借りて、初石の子供達の為に頑張っていきたいと思います。
宜しくお願い致します。

【6年コーチ】

荒井　崇
島　　政弘
仁平　久
大西　真人
増田　裕伸
荒田　耕志
鬼塚　裕二
京藤　康男
大塚　重行
小山　徹

「30周年を迎えて」

6年役員　結城　圭子、坂上　美雪

クラブ創設30周年おめでとうございます。
思えば、子供達がクラブへ入会してから6年生となった今、背丈だけでなく、技術面はもちろん、精神面でも、かなりの成長を見ることが出来ました。
たくさんの練習、試合、合宿などを通して、みんなで助け合い、励まし合う姿を見ると、とても頼もしく思います。また、共に親もこの間、とても充実した日々を過ごすことが出来ました。
この30年、指導者の方々の熱意が脈々と受け継がれ、今日を迎えられた事を思いますと、代々の指導者の方々への感謝の気持ちでいっぱいです。これからもクラブのますますの発展を祈っています。

30周年を迎えて　　初石コーチ陣

「30周年を迎えて」
女子代表コーチ　　朝倉　浩也

現在女子チーム（通称はピクシーズです。）は毎年10人に満たない人数ですが、楽しく明るくそしてその名の通り妖精のように可愛くをモットーに頑張っています。女の子は中学生以上でサッカーを続ける環境があまり整っていませんので、先ずは6年生まで継続して練習に参加できる環境づくりが1番大切だと思います。それがきっと卒業後も何かの役に立つことがあると信じています。そんな中でも何人かの卒業生が自らクラブチームや強豪の学校にチャレンジしてくれています。今ではU19の日本代表候補に名を連ねる子も出てきています。何時の日にかピクシーズで楽しくサッカーをしていた妖精がオリンピックに日の丸を着けて出場することを皆さん期待していて下さい。

「30周年を迎えて」
女子役員　本田　敬子、山口　志織

初石サッカークラブ創立30周年おめでとうございます。
ピクシーズは今年で14年目を迎えました。流山市で唯一の女子チームから沢山の先輩が巣立っていきましたが、年々部員が減少し今年は3名でスタート　という状況でした。このままでは活動出来なくなってしまう危機感から皆で懸命にPRをしました。その甲斐あって現在は1年生から6年生まで総勢12名で頑張っています。ピクシーズ誕生当時から指導して下さっている平田コーチ、山本コーチ、そして今年度代表を務めて下さっている朝倉コーチのもと、毎週元気一杯に真っ黒になってグラウンドを走っています。日頃ご尽力注いで下さっているコーチへ感謝と敬意の気持ちで一杯です。これから更に発展していけるように父兄の連携を深めていけたらと思います。

【女子コーチ】

朝倉　浩也
平田　久生
山本　弘

30周年を迎えて　　初石コーチ陣

「30周年を迎えて」
ママさん代表コーチ　宮脇　淳

私は選手として小学校の6年間、コーチとして約8年間初石に所属しています。現在はママさんのコーチをしながら初石に貢献できればと思っています。選手時代はおそらく史上最強の学年だったかと思います（自称）。素晴らしいコーチにも恵まれ、練習も楽しく、試合では勝つのが当たり前、早く日曜日が来ないかと思っていました。
今の子供たちにもそんな気持ちになってもらえるようなクラブにしていきましょう。

「30周年を迎えて」
ママさんチーム　近澤　清美

初石サッカーができて、10年経った時、市内大会の総合得点にママさんチームの成績も加算される事になり、当時の会長の菊地様が苦慮されていました。
個人的な話ですが私は子供を4人産み、その内3人が初石サッカーにお世話になりました。
私達夫婦では手が行き届かない子育ての足りない部分をどれだけ初石サッカーのコーチや父兄の方々に助けられお世話になった事を思うと、今ちょっとお返しができるかもしれないと思い、菊地様に私で良ければママさんチームを作るお手伝いをさせて下さいと申し出ました。

それから20年経ちました。
自分が年老いた事も忘れ、今私の娘の様な(嫁も入りました)人達とボールを楽しく蹴っています。
他のチームから若い素敵なコーチとチームワークの良さを羨ましがられています。
これからも初石サッカーと共にママさんも頑張っていきたいです。

【ママさんコーチ】

宮脇　淳
小澤　龍太
西村　淳
相馬　翔

想いでの一枚、一試合

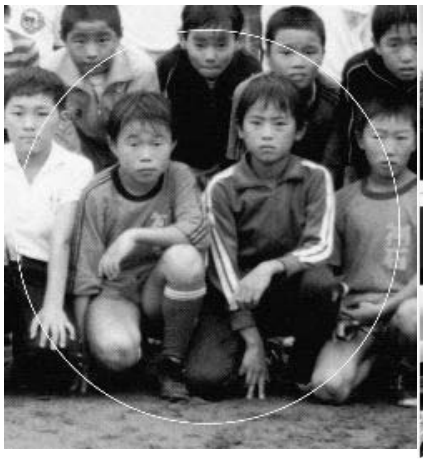
【松原さんと8期生の笑顔】

運営指導員　生方　康之

　昔は「はついしクラブ」って言ってたんだなあ。松原さんが笑っている。森さんが笑っている。そして8期生の子どもたちも笑っている。私はみんなを笑わせている。これは、上耕地グランドで行われた市内大会か何かの大会で優勝したときの一枚だ。
「なに、やってんじゃ！」「グランドを全速力で走ってこんかい！」と練習時の指導は厳しかったが、練習や試合が終わればこんな笑顔を見せてくれた。そんな松原さんを称えてできた松原杯（今の初石招待サッカー大会）の優勝カップを一度も手にすることなく、8期生は30歳半ばのおっさんになってしまった。でも、まあいっか。コーチをやっている奴もいるんだから。

【思い出に残る一試合】　　風間　孝則

　私にとってコーチ生活２５年の中でも思い出に残る一試合は何といっても平成４年の市内大会の決勝でしょう。 当日私は１年生のコーチとして広いグランドで団子状態で戦う（当時は１年生も１１人制）子供達の頑張りに満足しながら戦況を見守る中“０－０”のまま前半終了。
　その時、各学年コーチが続々と応援に、２年～６年が“優勝”残るのは１年だけとのこと（何で１年が最終試合）。各学年コーチが見守るプレッシャーの中後半も一進一退の攻防。“ハラハラドキドキ”のうち残り時間も5分を切った時、MF長谷川のゴール前右４５度からのシュートが見事にきまり“１－０”。この１点を守り試合終了。 １年～６年優勝の“完全優勝”という偉業を達成しました。（完全優勝はその後どのチームも達成していません。）
　その夜の祝勝会での優勝トロフィーでの乾杯！ぜひとも、もう一度勝利の美酒を味わいたいものです。



【2代目に突入！】　　伊藤　宏徳

小学校五年生時の流山選抜のセレクション（上耕地Gにて）、前列右が元全日本代表、現柏レイソルコーチの酒井コーチ、その左が現一年生コーチの伊藤コーチ、その二人の子供は同級生として初石ＳＳＣに所属（幼稚園年長）。
初石ＳＳＣも30周年を迎え、二世代目に突入！！

想いでの一枚、一試合

【女子チームの思い出の2枚】　　鷺　仁子

これからピアノの発表会？　きれいに編みこんだ髪にリボンや飾りをつけた少女たちが、ちょこんとお澄まし顔で並んでいた。かわいいピクシーズに出会ったときの光景だ。
桑原コーチの熱意により、流山市に初めての女子チームが発足してから14年。千葉県ガールズリーグにも参戦し、リバーサイドリーグも立ち上げ数々の試合で実力をつけていった。その間、数年間の活動ではあったが、女子中学生のチームも発足した。
20周年と25周年の記念誌の編集に携わったが大きな心残りがあった。これらの女子の軌跡を残すことができなかったことである。30周年を迎えるに当たり、詳細な記録を掘り起すことはできなかったが、思い出の写真に替えることで許してほしい。

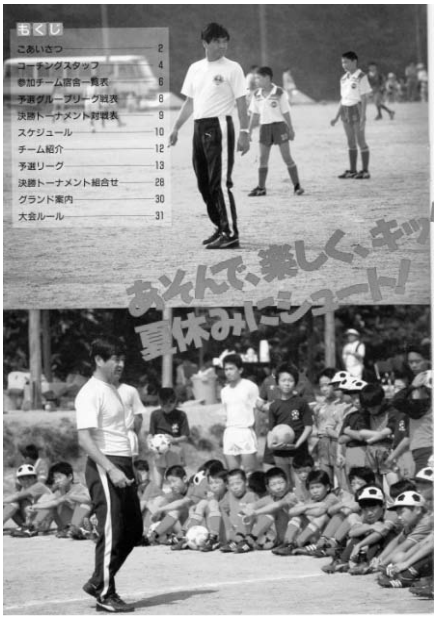
99年7月、ピクシーズの夏合宿で鹿島へ遠征。練習もそこそこにアントラーズのクラブハウスを見学に行った。なんとそこにはジーコが。男子チームには目もくれなかったジーコが、かわいい女の子たちとともに写真に納まってくれた記念の1枚。

96年4月、流山女子FCとして、全日本女子ジュニアユース選手権千葉県大会で優勝を飾ったときの1枚。西初石中学校での県大会はどしゃぶりの雨の後で、ペガサスの白井会長を先頭に、雑巾で水を吸い取りながらコートを整備した思い出がある。

女子リーグの審判で千葉県内を転戦したが、「流山は天敵だった」という大学生や、少女の試合で西初石小には何度も試合に行ったという社会人、お母さんたちに出会った。ピクシーズ、流山女子FCの活躍は、現在の県女子リーグ隆盛の基を築いたと胸を張ってよい。
中学生はほとんどが社会人になっているが、クラブチームのコーチになっているもの、千葉県女子サッカーリーグに参戦しているものもいる。ピクシーズにも高校選手権で優勝を果たしたもの、Lリーガーになったもの、その後を追うものとサッカーでも多彩な活躍ぶりを発揮している。
　いつか初石から「なでしこ」が生まれたら最高だが、なでしこでなくてもいい。サッカーは少女をレディにする。そう信じたい。

想いでの一枚、一試合

【30周年・・・想いでの写真】 菊地　士郎

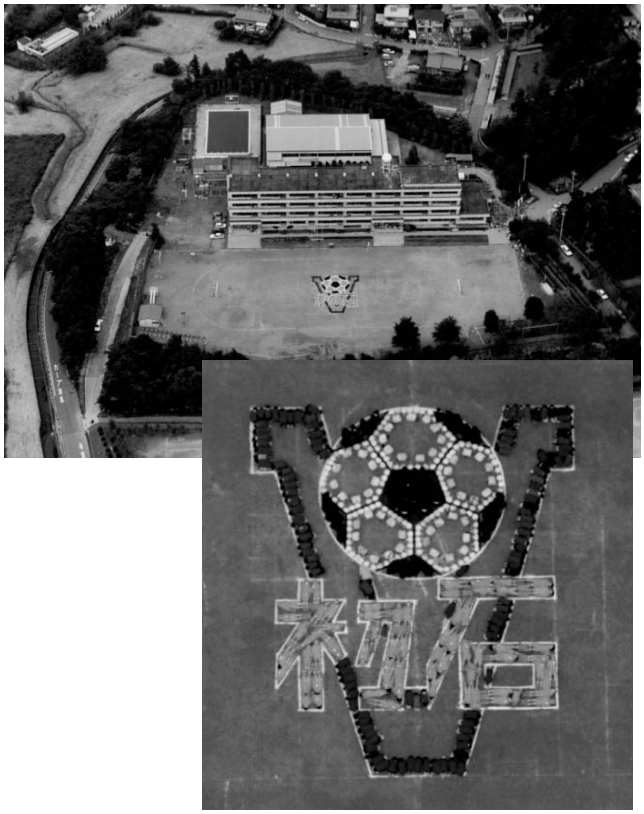


1989年8月　NTT少年サッカーフェスティバルにて森孝慈氏、加藤久氏の指導を受けるクラブ員

1989年8月　NTT少年サッカーフェスティバル（新潟県苗場）に参加。10・11・12期生で参加し、第3位に入賞しました。

1991年8月　NTT少年サッカーフェスティバルに参加。ワールドカップメキシコ大会チャンピオンチーム（アルゼンチン）監督カルロス・ビラルド氏とDFホセ・ルイス・ブラウン氏の指導を受ける。

想いでの一枚、一試合



1988年10月　ビッグアートコンテストに入賞。
初石の赤と青のユニフォームを着た部員と保護者でサッカーボールを描きました

1999年8月　クラブ創立20周年　当時の指導者全員集合

1999年8月　クラブ創立20周年　OB戦（西初石中学校にて）

想いでの一枚、一試合

【初の合同チーム・・・ポストが味方だ】　　本村　徹

平成１４年の初石６年生は、６年次に８名しか在籍していない危機的状況でした。その前の年は下の学年から応援をもらって戦いましたが、子供達からすると同じ学年でサッカーをしたいという要望がありました。
そこに同じ市内の南流山少年サッカークラブでも６年生が５名しかいない状況があり、それでは合同で試合や練習もしましょうということになりました。
そのような混成チームで挑んだ「流山市内少年サッカー大会」では、みんな頑張り準決勝に駒を進めることが出来ました。
迎えるは、ペガサスJFCです。流山選抜に１０名以上選ばれている強豪チーム相手にこの合同チームの子供達が奇跡を演じてくれました。
圧倒的な相手の攻撃をみんなが献身的にボールを追いかけまわし、身体を寄せることでプレッシャーを与えゴールを割らせません。またゴールポストも味方に付け（？）ことごとく跳ね返し、どんどん時間が経過し０－０の引き分けになりました。
結局、PK戦で負けてしまいましたが、優勝チームに得点を与えなかったプレーは、想い出の一戦となりました。

【2003年東葛リーグ4年生大会　決勝戦】　　朝倉　浩也

2003年12月21日に行われた東葛地区サッカー大会の決勝トーナメントに進出した4年生チームは準決勝の湖北台を1-0で撃破し見事決勝進出しました。そして決勝戦はなんとあの日立サッカー場で行われました。選手入場の際は電光掲示板に名前が映し出され、更にはアナウンスが会場に流れました。普段観客席に座ってレイソルの試合を見ていた子供たちがあのピッチに立ったのです。試合は個人技に勝るイーグルスに大人のコートの大きなスペースをうまくつかれ１－４で準優勝でしたが、子供たちにいい夢を見させてもらいました。

【2005年片品サッカーフェスティバル】

2005年8月4日から7日に開催された片品サッカーフェスティバルは東京・千葉・埼玉・神奈川・茨城などから強豪チームが70チームほど参加して過密日程の中で行われました。歴代の上位チームがひしめくAブロックを2勝3分ときわどく決勝トーナメントに進出した我が初石は決勝トーナメント1回戦をPK勝ちするとエンジン全開となり準々決勝、準決勝を1点差で粘り勝ち、なんと決勝進出を果たしました。
残念ながら決勝で0−1で惜敗しましたが準優勝と輝かしい成績を残してくれました。
　子供たちの奮闘する姿にコーチ、父兄皆が感動に胸を震わせました。

想いでの一枚、一試合

【2年生の想いで】　　宮内　匡彦

2008年11月3日の湖北台杯争奪ガーデンフットボール大会の試合前の練習風景です。我孫子市立湖北台中央公園で行われました。試合は3試合中1勝2敗。
寒い中での戦い全員最後まで頑張りました。
慣れない芝生でおもうように走れないなか、全員ボールを追いかけ勝ち取った勝利です。

【みんなで優勝！】　2009/02　　加芝　素樹

ロホ、アスールの2チーム編成で活動した1年間でした。
ロホは市内大会で優勝したものの、その後は惜しいところで優勝を逃したり、
アスールは11月にやっと初勝利という中で迎えた、第3回モルテン・リバティサッカー大会。
2年生最後の公式戦。初の8人制ということで、1チームでの参加となりました。
練習試合でも8人制はやったことがなく、さらに当日はインフルエンザで欠席者もいるという状況の中、
そんな不安をものともせず、子供達全員で、まさにチーム一丸となり、つかんだ優勝でした。
結果：リーグ戦：2勝0敗0分／トーナメント(準決勝)：2-0八潮メッツ／決勝戦：3-1リバティ吉川
日時：2009年2月14日(土)／場所：埼玉県松伏町　松伏総合運動公園

【4年生の想いで】　2008/07　　遠藤　豪

3年時の市内大会　初石VSペガサス
3年生になって初の公式戦です。
相手は優勝候補のペガサスで、試合は負けはしましたが、前半の動きとは、うって変わって後半はとても良い動きになり何とか点も取ることが出来ました。

想いでの一枚、一試合

【5年生の想いで“地獄の黙示録”】　2009/06　　本村　徹

つい先日終わった5年県大会3回戦です。
この試合は新型インフルエンザの影響でAチーム13名中6名が自宅待機となり“7名”で対戦しました。雨で土が見えない田んぼのようなピッチで相手以上に走りました。
結果は0－1で敗戦（VS　大和田SSS）しましたが、7名全員がMVPの動きをし、相手に1点しか与えませんでした。メンバーの大切さを実感した試合だったと思います。
きっと7名での試合は二度としたくないだろうね。
写真のタイトル“地獄の黙示録”とははまり過ぎているな～。

卒業生名簿

25期

氏名

村田　　諒
伊藤　拓也
平野　史都
井田　明宏
小島　弘慎
白田　寛朗
横川　祥也
野木　漱一郎
本田　健斗
西沢　駿平
伊東　純也
菊地　史人
新井　智之
徳田　裕輔
江崎　雄太
加藤　菜々
門井　琴美
吉田　衣里
中島　英理花
藤原　晴香

担当コーチ：平野、片野、村上、宮脇、小山、小谷
野木、本田

主な戦績

6年	初石松原杯	準優勝
	流山市少年サッカー大会	第3位
	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	第3位
	ユーカリカップ	第3位
	高野山招待	準優勝
	FORZA沼南招待	第3位
5年	三菱養和ｻｯｶｰﾌｪｽﾃｨﾊﾞﾙ	第3位
	ユーカリカップ	優勝
	流山市少年サッカー大会	優勝
3年	第2ブロック大会	BEST8
	湖北台杯	第3位
1年	流山市内1・2年ママさん大会	優勝

卒業生名簿

26期

氏名

須賀　　淳
上久保　遥平
清水　大輝
秋元　翔太朗
富田　俊介
西山　幸太朗
向江　凌理
小澤　凌祐
亀山　宏平
工藤　将高
木村　　竣
朝倉　健斗
大畑　拓也
松岡　　諒
浦山　洋平
戸ノ岡　翼
菊地　大樹
藤田　健矢
向井　悠人
会田　慎一郎
神舘　久仁香
漁野　早紀
松木　　綾
清田　茉理
北原　千晶
安田　千明

担当コーチ: 朝倉、島、上久保、向江、風間、小山
小澤

主な戦績

6年	初石松原杯	準優勝
	流山市少年サッカー大会	優勝
	片品サッカーフェスティバル	準優勝
5年	25周年記念5年生大会	準優勝
	流山市少年サッカー大会	準優勝
	ユーカリカップ	優勝
	第2ブロック大会	準優勝
	東葛リーグ	第3位
4年	流山市少年サッカー大会	優勝
	第2ブロック大会	準優勝
	東葛リーグ	準優勝
	郡市代表選手権	Best12
3年	流山市少年サッカー大会	優勝
2年	流山市少年サッカー大会	準優勝
1年	流山市内1・2年ママさん大会	準優勝

卒業生名簿

27期

氏名

林　孝亮
柳岡　郁也
小島　智慎
白田　岳
鈴木　剛工
伊東　和馬
荒木　諒士
守屋　雄太
上野　裕司
三好　雄士
伊東　拓也
吉田　恭隆
須賀　亮太
手塚　健太
藤原　拓哉
大塚　悠平
小林　洋史
税本　遼
石破　佳貴
平松　遼
神津　洋彰
徳竹　翔稀
菊地　耕平
松本　勇人
川和　弘樹
丸山　竜也
長塚　雄介
望月　大樹
久慈　凌
篠宮　拓哉
平井　一帆
大石　壮貴
髙木　光治
岡井　茉弥

担当コーチ: 手塚、森、林、桑原、松本、長塚、石川
小山

主な戦績

6年	初石招待6年生大会	準優勝
	流山市少年サッカー大会	4位
	片品サッカーフェスティバル	Best16
	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	準優勝
	卒業生大会	準優勝
5年	流山市少年サッカー大会	準優勝
4年	25周年記念4年生大会	優勝
	千葉県少年サッカー選手権4年生大会	Best16
	流山市少年サッカー大会	4位
	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	準優勝
	東葛リーグ	Best8
3年	流山市少年サッカー大会	優勝
	千葉県少年サッカー選手権3年生大会	Best16
2年	流山市内1・2年ママさん大会	優勝
1年	流山市内1・2年ママさん大会	準優勝
	ゼンニチカップ	準優勝

卒業生名簿

28期

氏名

岸田　健太郎
下村　昂平
細川　駿一
根本　將彦
杉山　　健
波田野　佑
東風谷　鷹一
草苅　晶生
隈元　貴之
須田　恭平
長田　拓馬
大西　雄也
黒須　将太
成澤　翔大
山﨑　達之
大平　慶太
出浦　颯人
朝倉　里帆
手島　吏絵
大森　琴葉
鈴木　夏子
小黒　亜衣
上野　佳菜
由良　菜摘

担当コーチ: 大西、倉林、渡部、大山、小谷、桑原
小山、細川、長田、波多野、杉山

主な戦績

６年	初石招待6年生大会	準優勝
	流山市少年サッカー大会	準優勝
	高野山招待	第3位
５年	千葉県少年サッカー選手権5年生大会	Best16
	ユーカリカップ	優勝
	矢切招待	第3位
４年	流山市少年サッカー大会	第3位
	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	第3位
3年	流山市少年サッカー大会	準優勝
	第2ブロック大会	Best8
	FCボレイロ成田招待	優勝
2年	新松戸清水杯	優勝
	流山市少年サッカー大会	優勝
	流山市内1・2年ママさん大会	優勝
	FC北野ﾐﾆｶｯﾌﾟ	準優勝
1年	流山市少年サッカー大会	優勝
	湖北台杯	優勝
	流山市内1・2年ママさん大会	優勝

卒業生名簿

29期

氏名

横川　琢丸
伊東　竣也
向江　　慧
大塚　翔太
長谷川　竜太
徳竹　遼稀
菅原　健太郎
手塚　康太
小林　拓斗
井田　隼輔
篠宮　一哉
佐藤　大河
石井　寛仁
京藤　直也
西山　　輝
西　　燿希
村田　大雅
酒井　景梧
中村　貫太
加藤　　綾
山内　大輔
山下　凌河
吉田　茉央
松倉　優華
柴田　真帆
阿部　ななみ

担当コーチ：大塚、鷺、大西、向江、横川、徳竹、手塚
小山

主な戦績

6年	初石招待6年生大会	準優勝
	流山市少年サッカー大会	優勝
	ユーカリカップ	第3位
	波崎少年サッカー卒業生大会	第3位
	高野山招待	第3位
	卒業生大会	準優勝
5年	流山市少年サッカー大会	第3位
	第2ブロック大会	Best8
	ユーカリカップ	優勝
4年	千葉県少年サッカー選手権4年生大会	Best8
	ユーカリカップ	準優勝
	流山市少年サッカー大会	優勝
	我孫子少年交流ｻｯｶｰ大会	準優勝
	早稲田つつみカップ	4位
3年	流山市少年サッカー大会	優勝
	東葛リーグ	Best8
2年	新松戸清水杯	優勝
	流山市少年サッカー大会	準優勝
	FORZAカップ	優勝
	シックス八潮杯	優勝
	ゼンニチカップ	準優勝
1年	流山市少年サッカー大会	第3位
	流山市内1・2年ママさん大会	準優勝

卒業生名簿

※20周年・25周年記念誌に掲載しました卒業生は名簿のみ記載してあります。

卒業年度(卒業期)	NO.	卒業生
●1981年卒業(第1期)	1	岩田修一
	2	小川将司
	3	下村　勧
	4	白木啓太郎
	5	吉村　正
	6	管　隆利
●1982年卒業(第2期)	1	金子繁行
	2	惣田充宣
	3	柿沢千絵
●1983年卒業(第3期)	1	秋山喜城
	2	岩田幸治
	3	大賀　哲
	4	尾崎啓成
	5	久家　毅
	6	後藤　誠
	7	佐野英樹
	8	塚本暁子
	9	中西賢次
	10	中畑　学
	11	早野貴生
	12	東　茂哉
	13	本沢賢一
	14	三浦健太郎
	15	村上貴政
	16	森野義隆
●1984年卒業(第4期)	1	飛鳥正文
	2	阿部　徹
	3	飯田昌幸
	4	今井澄人
	5	岩尾和彦
	6	岡村　徹
	7	葛西　聡
	8	木原信之
	9	熊坂香乃
	10	熊坂忠相
	11	熊坂宗相
	12	佐藤健夫
	13	関家浩三
	14	惣田英二
	15	谷口雅彦
	16	中落敏之
	17	中村青龍
	18	林　将光
	19	福田崇之
	20	松原利英
	21	山田恭久
●1985年卒業(第5期)	1	石井猛夫
	2	大島　崇
	3	太田康平
	4	大槻宣夫
	5	大森啓隆
	6	尾崎史郎
	7	柿沢充洋
	8	鈴木祐司
	9	中沢竜一
	10	中畑　亘
	11	奴留湯智仁
	12	原　哲也
	13	平井伸幸
	14	平川　静
	15	村上哲章
	16	水嶋信文
	17	山岸紀之
	18	山崎　勝
●1986年卒業(第6期)	1	赤沼賢介
	2	鮎川英徳
	3	池田真二
	4	衛藤禎史
	5	海老根高文
	6	尾形英明
	7	奥野雅也
	8	加藤利幸
	9	小林孝啓
	10	小宮敬一
	11	染谷武志
	12	田口　浩
	13	津久井譲
	14	永見敏明
	15	東　　良子
	16	松原　知
	17	最上正樹
●1987年卒業(第7期)	1	伊藤道久
	2	内　孝史
	3	漆野武夫
	4	宇留野太一
	5	海老名竜太
	6	及川良隆
	7	大沢　誠
	8	太田光茂
	9	大塚真悟
	10	大森　大
	11	風間　純
	12	川原大祐
	13	木股悟志
	14	窪木真人
	15	久保俊一
	16	小林慎太郎
	17	須藤信一郎
	18	相馬裕次
	19	高安史郎
	20	近沢宏治
	21	畑　伊織
	22	浜田　茂
	23	安田永徳
	24	吉沢友孝

卒業生名簿

※20周年・25周年記念誌に掲載しました卒業生は名簿のみ記載してあります。

卒業年度（卒業期）	NO.	卒業生
●1988年卒業（第8期）	1	秋山貴紀
	2	出野智之
	3	伊藤剛一
	4	伊藤宏徳
	5	今村　浩
	6	伊牟田智
	7	岩間大助
	8	上野智宏
	9	宇津木孝
	10	生方健朗
	11	大塚修治
	12	大塚高士
	13	大藤俊介
	14	小笠原徹
	15	小沢龍太
	16	片見憲次
	17	加藤玄揚
	18	川上　徹
	19	川奈部大幸
	20	河西弘毅
	21	菊池太一
	22	栗田　淳
	23	酒井直樹
	24	坂巻俊光
	25	白地俊成
	26	鈴木直樹
	27	高橋悟郎
	28	田仲浩之
	29	塚越康博
	30	綱川浩行
	31	永井孝一
	32	平井抗治
	33	堀江貴光
	34	前田篤史
	35	森　伸一
	36	森田　晃
	37	森田和彦
	38	森山秀隆
	39	門田　嗣
	40	柳沢宏明
	41	山口将彦
	42	山崎孝輔
	43	弓削和志
	44	渡辺哲也
●1989年卒業（第9期）	1	粟飯原覚
	2	秋元伸一
	3	朝倉央任
	4	荒井充一
	5	飯沼良直
	6	池田信太郎
	7	大久保真
	8	岡田祐志
	9	風間由樹男
	10	亀田真功
	11	川田秀成
	12	菊地圭輔
	13	木梨淳一
	14	木下泰志
	15	熊坂英相
	16	倉本　篤
	17	黒川　舞
	18	甲田欣哉
	19	斉藤　明
	20	斉藤　剛
	21	佐藤竜士
	22	須田壮一
	23	染谷真行
	24	高橋秀夫
	25	竹田直人
	26	新妻正人
	27	林　和樹
	28	林　正洋
	29	星　正稲
	30	堀江　普
	31	堀口邦明
	32	三宅克佳
	33	宮崎幹大
	34	村川高彦
	35	森迫泰和
	36	森　天城
	37	渡辺章弘
●1990年卒業（第10期）	1	青木貴展
	2	阿部達也
	3	荒井一将
	4	荒井　和
	5	井口賢介
	6	石崎隆一郎
	7	伊藤　旭
	8	内田裕毅
	9	宇留野友人
	10	大津彰義
	11	岡本一宏
	12	風口和希
	13	金子純也
	14	鏑木貴史
	15	神田敦史
	16	小谷和寛
	17	堺井正和
	18	鷺　大介
	19	塩田　一
	20	白木大三郎
	21	須賀健太郎
	22	菅原章央
	23	田村　健
	24	千葉智幸
	25	歳常拓也
	26	中丸祐一
	27	新妻秀人
	28	新津佳典
	29	藤井隆之
	30	本田由基男
	31	松本直也
	32	最上英樹
	33	柳川普介
	34	山崎茂伸
	35	油原丈著
	36	吉沢正明
	37	吉田幸司
	38	渡辺浩行

卒業生名簿

※20周年・25周年記念誌に掲載しました卒業生は名簿のみ記載してあります。

卒業年度（卒業期）	NO.	卒業生
●1991年卒業（第11期）	1	安藤純一
	2	石川広平
	3	伊藤哲広
	4	岩野圭司
	5	大木陽介
	6	大倉　傑
	7	大島毅彦
	8	大島陽平
	9	小野康介
	10	加藤知大
	11	北澤雄二
	12	久米　敦
	13	桑原　渉
	14	酒井伸泰
	15	堺井義仁
	16	佐々木毅
	17	沢村高志
	18	清水　崇
	19	杉江　優
	20	鈴木　敦
	21	高橋宣雄
	22	竹前健太郎
	23	永井　岳
	24	野村俊和
	25	花山啓太
	26	福田秀行
	27	村上正樹
	28	森迫和真
	29	山崎太郎
	30	横地洋幸
●1992年卒業（第12期）	1	上尾　渉
	2	飯沼孝正
	3	池田悠平
	4	伊原俊之
	5	入野貴之
	6	魚屋皇作
	7	江口純一
	8	片野裕介
	9	亀井崇史
	10	香田啓一
	11	塩田　公
	12	鈴木勝也
	13	鈴木　亮
	14	須山智弘
	15	平智　央
	16	高井歓人
	17	高津啓介
	18	高橋　豊
	19	對馬英貴
	20	南部　渉
	21	新妻健児
	22	西脇史明
	23	平田晃章
	24	宮崎信一郎
	25	最上元樹
	26	渡辺慎太郎
●1993年卒業（第13期）	1	浅川貴文
	2	石井謙吾
	3	上田尚嗣
	4	大山　敦
	5	岡田昌人
	6	黒沢　敦
	7	桑原　裕
	8	小崎史雄
	9	酒巻俊一
	10	残間洋彰
	11	篠原猛彦
	12	末永憲司
	13	鈴木裕之
	14	高橋洋一
	15	玉嶋剛志
	16	千葉泰幸
	17	鶴岡康雄
	18	永井　州
	19	中川　務
	20	西川直宏
	21	西村　淳
	22	濱上　悟
	23	宮脇　淳
	24	村上悟士
	25	安川　雄
	26	山崎健吾
	27	渡部　仁
●1994年卒業（第14期）	1	上尾　征
	2	荒木和弘
	3	石川直之
	4	伊藤盛敬
	5	大里哲也
	6	大庭真之
	7	小川達也
	8	金子浩一郎
	9	川原大佳
	10	鬼島卓哉
	11	小柴義哉
	12	小谷直睦
	13	小塚健介
	14	佐藤信成
	15	小路尚也
	16	鈴木祐将
	17	染谷安信
	18	高橋武男
	19	辻本隆弘
	20	中島正人
	21	中丸太司
	22	西山善徳
	23	根岸良彰
	24	樋口大祐
	25	日名子亮
	26	正木元太
	27	松土裕一
	28	山崎　翔
	29	山下洋平
	30	吉田健二
	31	渡辺重明
●1995年卒業（第15期）	1	阿部政徳
	2	飯島貴司
	3	飯田有一
	4	石川潤一

卒業生名簿

※20周年・25周年記念誌に掲載しました卒業生は名簿のみ記載してあります。

卒業年度(卒業期)	NO.	卒業生
●1995年卒業(第15期)	5	伊藤　健
	6	伊東　誠
	7	猪内健吾
	8	浦辺裕介
	9	片野俊介
	10	川添達也
	11	北川翔太
	12	久保田掌
	13	桑原佳直
	14	東風谷和範
	15	佐々木哲
	16	渋谷謙治
	17	関谷智明
	18	反町達夫
	19	高津淳弥
	20	谷藤祐人
	21	近沢宏明
	22	土田　望
	23	飛田健志
	24	山岡恒一
	25	和久真一
	26	和田信一
●1996年卒業(第16期)	1	秋元　隆
	2	浅野圭亮
	3	安藤博毅
	4	池田晋平
	5	石原将太
	6	井田宏幸
	7	植田孝行
	8	江口貴幸
	9	蔭地弘貴
	10	大山修平
	11	小川悠介
	12	小貫裕介
	13	小野寺祐
	14	勝呂祐介
	15	加藤剛司
	16	菊地祐輔
	17	桑原直人
	18	斉藤寿一
	19	酒井啓吉
	20	桜井雄介
	21	桜井葉子
	22	佐藤直樹
	23	志田　基
	24	鈴木孝太郎
	25	鈴木善也
	26	高橋卓司
	27	高橋宏幸
	28	武田崇宏
	29	田村　勝
	30	庭野　悠
	31	林　　修
	32	真生田修
	33	三井　悠
	34	皆川貴行
	35	宮脇　洋
	36	山本崇太
	37	吉野圭一

卒業年度(卒業期)	NO.	卒業生
●1997年卒業(第17期)	1	相田徐考
	2	阿部琢久哉
	3	石橋　整
	4	入野悠己
	5	浦井洋征
	6	大谷秀和
	7	河原　諒
	8	黒江涼介
	9	小谷智幸
	10	駒田裕紀
	11	坂井信介
	12	酒巻一樹
	13	嶋立達志
	14	高橋　敦
	15	中庭健一
	16	西牧宏一郎
	17	西村　崇
	18	野牛崇弘
	19	野牛涼平
	20	萩原英俊
	21	原田健男
	22	樋口志朗
	23	本間涼太郎
	24	松土寛之
	25	松丸直樹
	26	三須靖之
	27	三田文武
	28	宮澤真里緒
	29	和知洋平
●1998年卒業(第18期)	1	秋鹿雅哉
	2	石黒隆之
	3	石塚　優
	4	大作崇公
	5	太田知介
	6	小田原弘樹
	7	尾張尭映
	8	川原大季
	9	鬼島充樹
	10	剱持康憲
	11	小谷隆広
	12	小林純一
	13	佐久間省吾
	14	佐野陽平
	15	鈴木淳紀
	16	鈴木雄介
	17	相馬　翔
	18	染谷正太
	19	高木　亨
	20	田山直人
	21	中村敏宏
	22	西岡裕貴
	23	西本裕紀
	24	長谷川裕也
	25	濱上裕司
	26	藤井健太
	27	前田　樹
	28	松本隆太
	29	宮内竜也
	30	宮本　旭

卒業生名簿

※20周年・25周年記念誌に掲載しました卒業生は名簿のみ記載してあります。

卒業年度（卒業期）	NO.	卒業生
●1998年卒業（第18期）	31	吉岡斉之
	32	和久宏之
	33	渡辺真樹
	34	渡部陽平
●1999年卒業（第19期）	1	会田達也
	2	相田若水
	3	芦澤康史
	4	石井貴久
	5	伊藤真仁
	6	江口裕樹
	7	大川　昭
	8	岡田皓太
	9	沖山祐二
	10	河本慎也
	11	木下哲郎
	12	黒沢裕太郎
	13	小谷　聡
	14	佐々木耕介
	15	重岡大輝
	16	須子優祐
	17	田中宏明
	18	田沼秀明
	19	堤　優太
	20	常光宏明
	21	新田章郎
	22	比嘉亮太
	23	樋口哲也
	24	本間智博
	25	前田雄平
	26	松本直也
	27	松本勇樹
	28	宮坂雄輝
	29	村上達也
	30	八幡泰樹
	31	山下昂史
	32	山本起史
	33	山本輝夫
	34	吉田直人
●2000年卒業（第20期）	1	秋山　竜太
	2	小沢　義憲
	3	久我　一生
	4	久保　知大
	5	倉林　秀和
	6	佐藤　儀明
	7	島　零士
	8	長谷川　翔基
	9	松丸　淳
	10	宮田　良紀
	11	森　一海
	12	柳堀　貴史
	13	吉田　浩太
	14	渡部　和幸
	15	福田　恭子
	16	山下　由季乃
	17	渡辺　なつみ
●2001年卒業（21期）	1	阿部　正稔
	2	石井　光
	3	石橋　修
	4	伊藤　勇樹
	5	入野　泰己
	6	小田原　史憲
	7	駒田　智之
	8	佐々木　智之
	9	鈴木　智大
	10	関口　陽介
	11	高橋　倫太郎
	12	萩原　大貴
	13	東　裕太郎
	14	三浦　駿太
	15	岡田　千紘
	16	小林　佑衣
	17	高橋　麻美
	18	小林　莉紗
	19	大西　杏奈
●2002年卒業（22期）	1	赤星　直人
	2	井口　純一
	3	伊藤　篤史
	4	北村　章博
	5	佐藤　邦彦
	6	椎名　哲也
	7	須賀　弘樹
	8	田中　優希
	9	本間　裕貴
	10	松前　昌人
	11	宮澤　建人
	12	渡部　佳典
	13	秋山　仁美
	14	石塚　絵里
	15	門井　真琴
	16	山下　久美子
	17	米津　瞳
●2003年卒業（23期）	1	片岡　走一郎
	2	陣川　太郎
	3	田村　健
	4	遠山　亮
	5	中沢　翼介
	6	根本　崇弘
	7	本村　雄祐
	8	柳岡　琢也
	9	石橋　未彩
	10	松本　桃子
●2004年卒業（24期）	1	赤堀　良輔
	2	阿部　文哉
	3	上野　洋太
	4	大塚　一夢
	5	大西　佑樹
	6	勝城　雅治
	7	門井　慎之介
	8	上久保　拓海
	9	久保　亮太
	10	久保秋　直人
	11	佐々木　透
	12	竹玄　賢人
	13	長　龍之介
	14	手塚　翔太
	15	仁平　博昭
	16	西山　大喜
	17	宮永　勇介

卒業生名簿

※20周年・25周年記念誌に掲載しました卒業生は名簿のみ記載してあります。

所属	NO.	卒業生
●ジュニアユース/OB	1	北山早紀
	2	大久保美喜
	3	太田悼子
	4	金井さやか
	5	上丸久美子
	6	菊月亜衣
	7	染谷晴海
	8	矢口敦子
	9	桜井葉子
	10	市川裕子
	11	北田　綾
	12	塚原由佳
	13	半田小由里
	14	関谷奈緒子
	15	稲葉三紗子
	16	尾張みづき
	17	浅野未歩
	18	名竹有希
	19	芳野光樹
	20	加藤早紀
	21	桑原麻綾子
	22	渡辺琴美
	23	井田奈都子
	24	長谷川真美
●ジュニア（ピクシーズ）/OB	1	宮本佑里香
	2	熱田滋瑞
	3	倉林由希子
	4	渡辺　舞
●ママさん/OB	1	鷺　仁子
	2	関谷妙子
	3	大谷佳子
	4	渡部登美子
	5	宮本清美
	6	宮越綾子

現クラブ員

	名　前
1年生	伊藤　大世
	髙田　慧人
	島田　智章
	笠原　彩暉
	前山　　陽
	前山　　稜
	増田　太陽
	篠宮　潤哉
	酒井　愛輝
	宮脇　健太
	大平　教也
	中村　太紀
	小林　新太
	近藤　維斗
	川上　亮太朗
	上田　光心
2年生	小川　翔大
	神谷　俊希
	髙島　優人
	瀬崎　達也
	宮内　颯斗
	島田　裕太
	山口　響平
	富永　東吾
	中村　元紀
	福地　浩太朗
	鮫嶋　蓮志
	荒木　耕太郎
	柿沼　優樹
	宮脇　勇真
	金野　　新
3年生	松本　葵衣
	井田　　陽
	田中　康誠
	小林　涼音
	秋山　虎太郎
	萩原　佳祐
	加芝　晃永
	中島　颯太郎
	後藤　雄太
	森山　遥斗
	井上　裕太

	名　前
	荻原　啓矢
	峯田　健生
	三浦　朔矢
	三浦　瑛史
	黒崎　　凛
	山﨑　晴貴
	工藤　真之介
	高橋　亮志
4年生	柴田　　航
	竹内　　魁
	川崎　翔太
	遠藤　拓海
	阿部　宇恭
	小堺　雅己
	小堺　悠真
	会沢　　陸
	瀬崎　大輔
	梅田　龍太郎
	嶋岡　純平
	小泉　理旺
	上田　優心
5年生	田村　　拓
	上久保　勇佑
	細川　翔平
	鈴木　涼太
	田中　雄大
	岡井　悠人
	戸ノ岡　颯
	中村　海斗
	中村　勇斗
	長塚　尚輝
	守岡　　駿
	宮澤　啓吾
	渡辺　　匠
	豊島　有希
	鈴木　浩二
	大作　晃平
	平山　敬吾
	不破　健作
	鮫嶋　海征
	菅原　　豪

	名　前
6年生	大塚　健矢
	増田　瑞希
	坂上　真生
	税本　　大
	荒田　健心
	荒井　真一
	奥山　　真
	藤原　洋輝
	京藤　文也
	団　　脩真
	結城　充輝
	淵上　大地
	内川　和希
	嶋谷　直也
	鬼塚　健太
女子　1年生	田辺　萌子
2年生	須田　美咲
3年生	山田　真羽
3年生	老後　千夏
4年生	山口　　環
4年生	本田　梨菜
4年生	荒井　千桜
4年生	高橋　里彩
6年生	浦山　奈津実
6年生	木本　奏美
6年生	山中　雅子
ママさん	近澤　清美
	森迫　昌代
	長谷川　京子
	長谷川みつる
	寺田　元子
	渡辺　貴子
	牛久　みゆき
	小澤　真由美
	手塚　千佳
	岩城　由恵
	近澤　奈津子
	山田　優子
	荻原　久枝
	佐藤　はるひ

クラブ指導員

学年	氏名
1年生	伊藤　宏徳
	大西　知次
	前山　　誠
	島田　英典
2年生	宮内　匡彦
	横川　弘人
	大山　昭信
	小谷　正巳
	中村　太郎
	瀬崎　堅一
	髙島　邦人
	荒木　則幸
3年生	加芝　素樹
	風間　孝則
	渡部　典夫
	桑原　祐一
	松本　一夫
	林　　文夫
	秋山　喜城
4年生	遠藤　　豪
	村上　能正
	宮脇　　優
	川崎　　哲
	片野　貞夫
	柴田　　等
	向江　　太
	小堺　仁志

学年	氏名
5年生	鈴木　　隆
	本村　　徹
	長塚　　忠
	岡井　勝己
	上久保　直樹
	細川　真伸
	鷺　　慎一
	徳竹　範治
6年生	荒井　　崇
	島　　政弘
	仁平　　久
	大西　真人
	増田　裕伸
	鬼塚　裕二
	荒田　耕志
	京藤　康男
	大塚　重行
	小山　　徹
女　子	朝倉　浩也
	平田　久生
	山本　　弘
ママさん	宮脇　　淳
	小澤　龍太
	西村　　淳
	相馬　　翔

学年	氏名
連　盟	西本　滋一
	相馬　雅裕
運営指導員	菊地　士郎
	生方　康之
	江口　　彰
	小澤　佳夫
	渡辺　忠雄
	澤原　洋史
	鷺　　仁子
	渡部　典夫

30周年記念実行委員会

●実行委員長
島　　政弘

●事務局
上久保　直樹

●記念試合
向江　　太
伊藤　宏徳
各学年コーチ・役員

●記念パーティー
島　　政弘
風間　孝則
増田　裕伸
大塚　修治（OB）
淵上　智子
増田　美奈

●記念誌編集委員
渡部　典夫
上久保　直樹
澤原　洋史
本村　　徹
平山　孝枝
鮫島　恭代
各学年コーチ・役員

●編集後記

昨年から30周年実行準備委員会を立ち上げ準備してきましたが、具体的に活動を開始したのが4月以降となりました。実行委員会の打合せで「何とか8月29日の記念大会および記念パーティーに間に合せたい」との考えから、やはり記念誌作成が時間的に厳しい状況となりました。

20周年・25周年の記念誌と比べ今回の記念誌作成のコンセプトは「クラブ関係者全員参加による内容にしたい」とし、基本的な暦表・卒業生名簿（氏名のみ）は継承して30年までの内容を更新し、新たにOBからの祝辞・思い出に残る一枚・現役コーチの祝辞・現役部員による寄せ書きなどを全員が参加できる内容と致しました。最終的には、今までの作成を担当された澤原洋史さんや本村徹さんのお力を今回もお借りし何とか期日までに完成させることが出来ました。

今後さらなるクラブの発展のため、今までのクラブの形跡を少しでも形として残せたことは、関係者皆々様のお陰だと感謝しております。

最後に、記念誌を多くのクラブ部員・OB・関係者の方々に見ていただきたく願いまして編集後記と致します。

渡部　典夫
2009年8月

Hatsuishi Jr.Soccer Club
Since 1979

30th Anniversary

初石少年サッカークラブ

http://www.hatsuishi-sc.com/